

2019 年度事業報告

I. 組織運営・財政運営報告（期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

1. 組織運営

1) 会員

2019 年度会員数は、正会員 66（団体 18、個人 48）、賛助会員 29（団体 14、個人 15）、総数 95 人・団体でした。2018 年度と比較すると、団体正会員が 5 減、個人正会員が 5 減、団体賛助会員が 2 減、個人賛助会員が 5 減で、全体で 18 人・団体の減少でした。

○ 会員数の推移

		2017年度	2018年度	2019年度
正会員	団 体	24	23	18
	個 人	55	53	48
	計	79	76	66
賛助会員	団 体	15	16	14
	個 人	20	20	15
	計	35	36	29
総計	団 体	39	39	32
	個 人	75	74	63
	計	114	113	95

2) 総会

(1) 2019 年度通常総会

○ 日 時：2019 年 5 月 7 日（火） 18 時 45 分～19 時 50 分

○ 場 所：新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 4 階会議室

- ・ 2019 年 3 月末の正会員数は 76 と報告され、本総会の出席正会員は 18、委任状 32、合計有効総数 50 で正会員の 1/2 以上の出席により本総会が成立していることを確認し、下記の議案の審議を行いました。
- ・ 2018 年度の活動について報告があり、審議の結果、出席者全員の賛成を持って承認されました。
- ・ 2018 年度活動計算書・貸借対照表・財務諸表の注記・事業別損益の状況について報告があり、続いて監査報告が行われました。審議の結果、出席者全員の賛成を持って承認されました。
- ・ 2019 年度の事業計画案が提案され、審議の結果、一部加筆修正を確認し、出席者全員の賛成を持って承認されました。
- ・ 2019 年度予算案が提案され、審議の結果、出席者全員の賛成を持って承認されました。
- ・ 理事・土谷雅美の辞任に伴う新任理事・田中のり子の選任案が提案され、審議の結果、出席者全員の賛成を持って承認され、被選任者は役員就任を承諾しました。

3) 理事・監事体制

理事会は理事 15 名、監事 2 名体制で運営しました。

【理 事】15 名

赤坂禎博、伊藤久雄、奥田雅子、小林幸治、小林徹也（副理事長）、佐々木貴子（理事長）、塩田三恵子、辻利夫、土屋真美子、土谷雅美、坪郷實、西崎光子（副理事長）、林泰義、三浦一浩、三木由希子

【監 事】2 名

矢崎芽衣、畑山弘

草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金（SJF）については、市民からの指定寄付金を財源とする助成事業であることから、理事会のもとでの「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」、「SJF 運営委員会」による管理運営を基本とし、その決定事項を理事会で承認しました。

3) - 1 理事会・役員会

理事会を 4 回開催しました。なお、組織運営、事業活動に必要な各種規程類の策定、承認にあたって、文書により理事会の確認及び承認を行いました。

また、理事会への議案などを検討するため、理事長、副理事長、事業担当理事、会計担当理事による役員会を 4 回行いました。

なお、役員会は 2020 年 3 月に第 5 回の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス（COVID-19）による影響で中止しました。

- ・ 第 1 回理事会 4 月 15 日（月）18 時 30 分～20 時 45 分（出席者 11 名）
- ・ 第 2 回理事会 7 月 16 日（火）18 時～20 時（出席者 16 名）
- ・ 第 3 回理事会 10 月 18 日（金）18 時～20 時（出席者 15 名）
- ・ 第 4 回理事会 2020 年 1 月 20 日（月）18 時～20 時 15 分（出席者 17 名）
- ・ 第 1 回役員会 5 月 13 日（月）17 時～19 時（出席者 5 名）
- ・ 第 2 回役員会 7 月 4 日（木）17 時～19 時 10 分（出席者 6 名）
- ・ 第 3 回役員会 9 月 27 日（木）17 時～19 時（出席者 5 名）
- ・ 第 4 回役員会 12 月 9 日（月）18 時～19 時 45 分（出席者 5 名）
- ・ 第 5 回役員会 2020 年 3 月 5 日（木）【中止】
- ・ 文書確認・理事会決定及び監事合意（7 月 28 日）：理事会規則、理事の職務権限規程、倫理規定、利益相反防止に関する規定、コンプライアンス規定、公益通報者保護に関する規定、文書管理規定、リスク管理規定、経理規定、事務局規定、監事監査規定（すべて新規）
- ・ 文書確認・理事会決定（10 月 8 日）：就業規則（改訂）、役員報酬規程（改訂）、役員の旅費等の支給に関する基準
- ・ 文書確認・理事会決定（4 月 10 日）：市民社会強化活動支援事業（Pecs）活動助成内定団体の承認

3) - 2 事務局スタッフの体制

事務局体制は、昨年度末の事務局長の退任に伴い 2019 年 4 月より新たな事務局長が就任し、今期当初は 5 名のスタッフでスタートし、その後「市民社会強化活動支援事業（Pecs）」の実施などから 6 名のスタッフ体制となりました。

下記の通り事務局スタッフ（職員）で活動を担うとともに、退任及び採用しました。

- ・ 継続 伊藤 久雄 （研究員：主にまちぼっとリサーチを担当）
- ・ 継続 瀧川 恵理 （主に SJF を担当）

- ・ 継続 辻 利夫 (主に会計経理・総務を担当)
- ・ 新任(4月1日より) 小林 幸治 (事務局長)
- ・ 退任(7月末まで) 西畑 ありさ (主に草の根市民基金・ぐらんを担当)
- ・ 新任(7月1日より) 深田 祐子 (主に草の根市民基金・ぐらんを担当)
- ・ 新任(12月16日より) 轟木 洋子 (主に市民社会強化活動支援事業を担当(POとして))

4) その他

(1) 「生活クラブと認定 NPO 法人まちぼっと」組織・政策協議会

生活クラブ生協・東京の理事長、専務理事、常務理事等と本会理事長、副理事長、事業担当理事、会計担当理事による組織・政策協議会を下記の通り開催しました。

- ・ 第1回 2019年7月24日(水) 16時15分～18時30分(出席者7名)
- ・ 第2回 2020年2月21日(金) 10時30分～12時(出席者6名)

(2) 草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)の運営体制

草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)については、市民からの指定寄付金を財源とする助成事業であることから、理事会のもとでの「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」、「SJF運営委員会」による管理運営を基本とし、その決定事項を理事会で承認しました。

(3) 組織運営にかかわる規程について

「市民社会強化活動支援事業(Pecs)」の助成申請にあたり、各種規程等を作成し理事会での承認及び監事による合意を得るとともに、同事業の内定を受けて「役員報酬規程」及び「就業規則」の一部改訂を行い、理事会にて確認し、承認しました。

(4) 事務所の拡充

「市民社会強化活動支援事業(Pecs)」に実施に伴い、2019年12月よりASKビル802号室を借用し事務所の拡充を行いました。

2. 財政運営

1) 2019年度財政

本会計はNPO法人会計基準を採用し、「活動計算書」及び財務諸表を作成しました。また、草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)、市民社会強化活動支援事業(Pecs)は本会計から分離し特別会計としています。

(1) 2019年度財政報告

当期正味財産は、2665万6456円でした。2018年度より1073万1329円の増額となりました。各会計部門の内訳は、まちぼっと会計は370万492円減額(未払法人税等含む)。特別会計の草の根市民基金・ぐらんの264万4315円、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)1178万7506円の増額となりました。ただし、草の根市民基金・ぐらは新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により、2月に予定していた公開選考会を延期したため、支出すべき助成金が繰越しになっています。その助成金が支出されていれば約35万円の減額となります。

SJFは1000万円の個人寄付およびオープン・ソサエティ財団から700万円、庭野平和財団から150万

円の助成金を受け正味財産が増額しました。

また、2019 年度後期に休眠預金資金分配団体として事業を開始しました市民社会強化活動支援事業（Pecs）は、2020 年度分も含めた 2 か年度分の助成金 4759 万 2500 円が休眠預金指定活用団体であります一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）より交付され、経費の 449 万 4164 円を差引いた 4309 万 8336 円は前受金として貸借対照表に計上しました。助成先に内定している 10 団体への 2020 年度助成金は 2020 年度中（1/2 ずつを前後期 2 回に分け）に支払う予定です。

まちぽっと会計は、助成金、受託金、寄付金等の収入が前年度の 3 分の 1 となり、6 期ぶりの 370 万円程度の赤字決算になりました。これにより正味財産は前年度より半減し 334 万 2255 円となりました。その正味財産には、事務所賃貸借敷金 130 万 6106 円、出版物の棚卸高 55 万 7210 円、出資金 16 万円が含まれており、実質の資産は 144 万 6994 円であり、3 か月後（6 月末）には 2020 年度の運営資金が枯渇（ゼロ）するおそれが高くなっています。

● 参考 4 会計貸借対照表

	まちぽっと	ぐらん	S J F	P e c s	全体計
資 産	3,470,310	10,818,479	15,995,722	43,129,000	73,413,511
現預金	1,446,994	10,818,479	15,995,722	43,108,534	71,369,729
未収金	0	0	0	20,466	20,466
棚 卸	557,210	0	0	0	557,210
敷 金	1,306,106	0	0	0	1,306,106
出資金	160,000	0	0	0	160,000
負 債	128,055	0	3,500,000	43,129,000	46,757,055
未払助成金	0	0	3,500,000	0	3,500,000
未払金	20,466	0	0	0	20,466
前受金	0	0	0	43,098,336	43,098,336
未払住民税	70,000	0	0	0	70,000
預り金	37,589	0	0	30,664	68,253
正味財産	3,342,255	10,818,479	12,495,722	0	26,656,456

II. 事業活動報告（期間；2019年4月1日～2020年3月31日）

i. 市民自治・参加・分権の普及と強化による地域/福祉のまちづくり調査研究

1. 市民討議会など市民参加手法の実践を通じた討議民主主義の調査研究

・当初計画：自治体計画や条例等への市民参加手法の課題と、その計画・実施・評価における各段階にふさわしいあり方の整理等についての調査研究の実施に向けて準備を進める。

- 2019年度は事業の実施に至りませんでした。自治体政策・条例化の取組みについては他団体との協力のもとに別途進めることができました。

2. NPO 法制定記録寄贈、HP 公開

・当初計画：国立公文書館への資料寄贈を、段階的に終了させ、その結果を HP で公開する。

- 前年度より継続してその作業を進めましたが、すべての資料を寄贈するまでには至りませんでした。次年度も継続して進めます。

3. 市民自治・参加・分権の普及と強化・地域/福祉のまちづくりに関するセミナー事業

・当初計画：市民自治・参加・分権の普及と強化による地域/福祉のまちづくり調査研究に関するセミナーを開催する。また、市民自治・分権・参加の普及と強化のため、市民社会の担い手となる主に市民や自治体議員・職員などを対象とした学習会・研修会等、学びの場づくりを行う。

3-1. 自治体議員研修（講座）等の開催

- 2019年度は事業の実施に至りませんでした。自治体政策・条例化の取組みについては他団体との協力のもと、また自治体議員の参加のもとに別途進めることができました。

3-2. まちぽっとセミナー

- まちぽっとセミナー2019検討委員会を設置し、内容の検討及び開催を進めました。
- 第1回は「『空き家』の使い方・使いみち」をテーマにして約30人の参加のもとに10月8日に開催しました。
- 第2回は「東京の水を考えてみよう」をテーマにして約20人の参加のもとに11月14日に開催しました。
- 第3回を「あなたのまちの公共施設」をテーマにして約25人の参加のもとに2020年2月4日に開催しました。

➤ 第1回：「空き家」の使い方・使いみち ―地域福祉事業における課題と展望―

- ・ 日 時：2019年10月8日（火）14：30～17：00
- ・ 会 場：生活クラブ館 スペース2
- ・ プログラム：報告①空き家の福祉活用事例による活用の課題：辻利夫さん（認定NPO まちぽっとと理事）
報告②空き家の福祉活用の具体事例：浅沼幸子さん（杉並・まちの縁がわ「なかまの家」）
講演「空き家の福祉・居住支援活用促進における政策課題」

：小林秀樹さん（千葉大学教授）

➤ 第2回：東京の水を考えてみよう ―水道法改正で自治体はどうする？どうなる？―

- ・ 日 時：2019年11月14（木） 14：00～16：30
- ・ 会 場：若松地域センター第1集会室
- ・ プログラム：講演「改正水道法と国・自治体の動き ―需要・維持管理・料金はどうか？」
：橋本淳司さん（水ジャーナリスト/アクアスフィア・水教育研究所代表）
報告①東京都の水道事業の経緯と現状：東京都水道局総務部 米澤龍太郎課長
報告②水道事業の経営と自治―昭島市の水道事業の取組みから：
昭島市水道部業務課 沖倉正樹課長

➤ 第3回：あなたのまちの公共施設 ―「公共施設等総合管理計画」と市民の参加―

- ・ 日 時：2020年2月4日（火）13：30～16：30
- ・ 会 場：生活クラブ館 スペース2
- ・ プログラム：講演「公共施設等総合管理計画」とその課題：畑山弘さん（認定 NPO まちぽっと監事）
報告①学校施設建設と市民参加：木下究さん（（公社）東京自治研究センター）
報告②図書館建設・運営と市民参加：手嶋孝典さん（町田の図書館活動をすすめる会代表）
報告③駅前再開発と一体化した葛飾区庁舎の移転問題
：塔嶋 麦太さん（葛飾区庁舎建替えに反対する区民の会事務局）

ii. 地域/福祉のまちづくり実現のための新規事業立ち上げ

4. コミュニティ政策の調査研究及び地域資源の活用調査事業

・当初計画：生活クラブ生協・東京をはじめ生活クラブ運動グループなどとの協力により、高齢者等「住宅確保要配慮者」に対する居住・見守り支援の担い手・ネットワークづくりの取り組みを引き続き進めるとともに、2017年度「認定 NPO による空き家や土地の所有」の実証調査の結果、2018年度「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業―空き家の福祉活用事例ガイドブック」等を参考にして、空き家活用及び「住宅確保要配慮者」に対する居住・見守り支援の取り組みとの連携など、地域資源の活用について検討を進める。

4-1. 市民・地域居住支援連絡協議会

- 生活クラブ生協・東京が居住支援法人の指定を受け、その活動促進と拡大を目的として「市民・地域居住支援推進連絡協議会」を設置し、各種検討を進めました。
- 〔メンバー〕生活クラブ：赤坂慎博、田代謙二、石原由理子／ACT：山木きょう子、大谷和子、生活サポート基金：久保田修三／東京・生活者ネットワーク：武内好恵、日向美砂子、認定 NPO まちぽっと：伊藤久雄、辻利夫、小林幸治（兼市民政策調査会）
- 〔開催経過〕5月16日、8月2日、9月11日、11月20日、1月6日、2月26日
- 本協議会の活動をふまえて、府中市内での取組みを進めるため府中・生活者ネットワーク、一般社団法人協働事業所によって屋関係者などの参加のもとに打合せ・準備会合を3回開催しました。

4-2. 活動助成申請

- 「高齢者等居住困難者への居住・生活支援担い手育成事業」として麒麟福祉財団の「麒麟・地域のちから応援事業」に助成申請を行いました。申請事業が採択され、府中市内における居住支援の取組みを中心にして、2020 年度に市民・地域居住支援連絡協議会参画団体の協力のもとにその取組みを進めます。
 - ・ 事業名：高齢者等居住困難者への居住・生活支援担い手育成事業
 - ・ 申請額：30 万円
 - ・ 事業目的：高齢者等で居住困難者（単身高齢者で所得の低い人）などを対象とした居住支援の取組みを進めるとともにその担い手づくりを行う。
 - ・ 事業趣旨：単身高齢者が増加しており、かつ低所得の方々は孤独死などのリスクにより賃貸住宅の入居が困難な状況があり、居住支援はもとより地域の住民・市民による見守りの支援が必要になっている。しかし、居住困難者の相談や関係機関との連携・協力などを進める担い手はごく少数であることから、担い手の育成と居住支援関係機関のネットワークの形成が求められている。
 - ・ 事業期間：2020 年 4 月～2021 年 2 月
 - ・ 事業対象地域：府中市を中心に東京都内
 - ・ 事業内容：地域の居場所づくりや見守り支援、終活援助などを行う団体および不動産事業者などを主体とする居住支援のネットワーク化を、これまで各地の居住支援の取組みへの協力、コーディネート等を進めてきた認定 NPO まちぽっとながつなぎ役となって進めるとともに、その担い手づくりの講習会等を開催する。
 - ・ 事業予定：
 - ・（仮称）居住支援市民連絡会・府中の設立と連絡会議の開催（年 6 回程度：4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月：各回 10 名程度）
 - ・（仮称）居住支援担い手講習会の開催（年 4 回程度：6 月、9 月、11 月、1 月：各回 15 名程度）
 - ・ 地域包括支援センター等への訪問相談・ニーズ掘り起しの実施（10 か所程度）

iii. 市民の主体的活動・事業への助成、支援

5. 草の根市民基金・ぐらん 助成事業

- ・ 当初計画：都内で活動する市民団体、及びアジアを支援する日本の市民団体を支援する助成基金として、「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」のもとで助成事業及び交流事業の取り組みを引き続き進める。具体には、助成事業として「都内助成」300 万円、「アジア助成」150 万円、総額 450 万円の支援を行うとともに、「草の根交流集会」の開催や各種交流、情報発信の取組みを行う。
- 7 月には「草の根交流集会」を開催しました。
 - 10 月から 2019 年度助成・2020 年度活動助成の公募を開始し、都内助成 30 事業・団体、アジア助成 11 事業・団体の申請、都内助成 24 事業・団体、アジア女性 8 事業・団体の応募がありました。
 - 12 月に書類選考会を開催し、都内助成 10 団体、アジア助成 3 事業・団体を選定しました。
 - 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けて、2020 年 2 月開催予定の公開選考会及び 3 月開催予定の運営委員会が開催できず、「アジア継続審査」については例年の運営委員会でのプレゼ

ンテーション及び質疑応答は行わず、書類による選考審査を行い、助成事業の継続を確認、決定しました。

- 2020 年助成活動の選考については、2 月に開催を予定していました公開選考会を新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けて中止し、次年度（4 月以降）に延期しました。

〔運営委員〕

田中のり子（運営委員長：生活クラブ東京）、奥田雅子（運営副委員長：まちぽっと）、高田幸詩朗（NPO 法人 JAFSA）、牧田東一（桜美林大学）、今井真理（東京・生活者ネットワーク）、山木きょう子（NPO 法人アビリティクラブたすけあい）、高橋亮介（東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合）、相原光子、木村はるみ、坂本並子、鶴島佳子、山口ミツ子（推薦枠）

- 報告交流集会の開催：2019 年 7 月 27 日（土）13 時 30 分～16 時 10 分／生活クラブ館 B1F
- 運営委員会の開催と主な議題

第 1 回 2019 年 4 月 24 日（水）組織体制について、年度方針の確認・検討、など

第 2 回 2019 年 6 月 26 日（水）交流集会・年間事業の確認・検討、など

第 3 回 2019 年 12 月 7 日（土）書類選考、公開選考会、など

【中止】第 4 回 2020 年 3 月 11 日（水）アジア継続審査、新年度方針、総括、など

〔アジア 2020 年度活動団体（継続）〕

- ① NPO 法人 アクセプト・インターナショナル：「インドネシアにおける元テロリストを対象とした脱過激化・積極的社会復帰プロジェクト」 50 万円
- ② NPO 法人 ホープフル・タッチ：「カンボジア水上コミュニティにおける持続可能な教育アクセスの改善」 50 万円

6. アドボカシー部門 助成事業

6-1. ソーシャル・ジャスティス基金（SJF）

・当初計画：「社会的公正」を目指してアドボカシー活動を行う市民団体を支援する助成基金として、「ソーシャル・ジャスティス基金運営委員会」のもとで助成事業及び対話事業の取り組みを進める。具体には、助成事業の総額を 200 万円とし、そのための資金調達を 300 万円を目標に進める。また、対話事業として市民意見の形成を行う「アドボカシーカフェ」の定期開催と、助成発表フォーラム等の開催を引き続き進める。

- 今年度の助成有効応募総数は 57 件で、昨年度から継続した公益財団法人庭野平和財団による協力を含む 2 団体（総額 200 万円）への助成と、オープン・ソサエティ財団（JANIC グローバル共生ファンドを介した助成）指定枠の 5 団体（総額 500 万円）を選定しました。
- アドボカシーカフェは 3 回開催しました。2020 年 3 月 3 日に開催予定だった監獄人権センターとのアドボカシーカフェは延期としました。

〔運営委員会〕

上村英明（恵泉女学園大学、市民外交センター＊運営委員長）、佐々木貴子（まちぽっと）、土屋真美子（まちぽっと）、辻利夫（まちぽっと）

＊運営委員会を 7 回（4/5、5/24、7/5、8/23、11/8、12/24、3/30）開催しました。

〔選考委員会〕

上村英明、佐々木貴子、轟木洋子（まちぽっと）、大河内秀人、（見樹院住職）、土肥潤也（NPO 法人わ

かもののまち代表理事)、仲野省吾(庭野平和財団)、オープン・ソサエティ財団東アジアプログラム職員

*この他に、特別に支援くださる方々のうち希望者が特別審査委員として、二次審査に参加しました。

〔企画委員会〕

土屋真美子、辻利夫、大河内秀人、寺中誠(大学教員・国際人権法専門)

➤ 助成発表フォーラム第8回の開催:2020年1月10日(金)/生活クラブ館地下スペース

〔助成団体〕

- ① NPO 法人 ASTA
- ② NPO 法人 OurPlanet-TV
- ③ NPO 法人ピッコラーレ
- ④ ジャーナリストを目指す日韓学生フォーラム実行委員会
- ⑤ NPO 法人メコン・ウォッチ
- ⑥ NPO 法人監獄人権センター
- ⑦ アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク

➤ JANIC との連携

オープン・ソサエティ財団による助成を受けた JANIC グローバル共生ファンドに、ソーシャル・ジャスティス基金のプログラム推進で培ったノウハウをもとにアドバイス契約をともによりよい市民社会を形成していくという観点から締結し、2019年8月から(2020年7月までを予定)運営アドバイスを中心に定期的に行いました。その取組みは、SJF にとっても有意義な提案をいただける場となっています。

➤ アドボカシーカフェの開催

第59回:当事者の声を「移民基本法」に~移民一人ひとりと共に生きる社会へ~

2019年6月18日(火)13:30~16:00/文京シビックセンター

高山ゆきさん(ベトナム難民となり日本に帰化、

カトリック難民移住移動者委員会人身取引問題プロジェクト)

山岸素子さん(移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長)

黒田かをりさん(CSO ネットワーク事務局長・理事)

第60回:家族と暮らせない子どもをひとりぼっちにしないために

—児童養護施設退所者等のサポートを—

2019年7月23日(火)14:00~16:30/新宿区・四谷地域センター

坪井節子さん(社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長/弁護士)

庄司洋子さん(NPO 法人 学生支援ハウスようこそ理事長/立教大学名誉教授)

第61回:知ってほしい 一人ひとりの子どもの声~マイノリティの子どもたちのリアル~

2019年12月14日(土)13:30~16:00/文京学院大学本郷キャンパス

甲斐田万智子さん(国際子ども権利センター代表理事)

遠藤まめたさん(にじーず代表/トランスジェンダー当事者)

彦田来留未さん(東京シュール非常勤スタッフ/アーティスト)

6-2. 「コミレス基金と、ソーシャル・ジャスティス基金を擁する協同構想」試行実施

・当初計画：NPO 情報・研修センター（TRC/代表・世古一穂氏）と協力して指定寄付「コミュニティ・レストラン助成基金」を創設し、SJF とともにアドボカシー型助成基金部門として位置づけ、アドボカシー活動を支援する新たな市民共同の助成基金のしくみを試行する。

- コミレス基金助成計画の中止：NPO 研修・情報センターと協力して、新たに指定寄付「コミュニティ・レストラン助成基金」を創設する事業計画について、4 月末に NPO 研修・情報センターより、協力の内容等についてこれまでに取り交わしてきた合意事項を見直し、事業を延期したいとの申し入れがあり、担当理事で検討して計画を取りやめることとしました。

7. 「休眠預金活用法」に基づく資金分配団体への申請（「市民社会強化活動支援事業」（Pecs））

・当初計画：草の根市民基金・ぐらんやソーシャル・ジャスティス基金の取り組みの経験を活かし、また休眠預金等活用制度が市民社会を強化し豊かな地域社会に貢献する制度となるよう監視するため、その参画・参入に向けて検討を進める。

- 資金分配団体の申請を検討するため「休眠預金等検討チーム」を設置し、申請に必要な書類及び規程等を作成し 7 月 30 日付けで「市民社会強化活動支援事業（Pecs）」として申請しました。
- 8 月末の面談をふまえて 10 初旬に内定通知書を受領し、11 月末の資金提供契約書の締結と同時に資金分配団体として事業を開始しました。
- 並行して 11 月、12 月には JANPIA 主催の PO 研修に参加し、12 月中旬から新規スタッフを採用して体制を強化しました。
- 12 月 20 日に公募申請の開始にあたり説明会を開催し、同日から公募申請を開始しました。約 1 か月間の公募申請期間を経て 1 月 20 日に締め切りました。28 団体の公募申請がありました。
- 3 名のアドバイザーと 6 名の外部の人材による選考審査委員を選任して、2 月初旬には書類選考会を開催し、3 月 23 日には選考審査会を開催して 10 団体の内定団体を決定し、理事会により承認しました。
- PO 研修として 3 回の研修を行いました。その開催にあたっては、認定 NPO 法人まちぽっと役員・職員研修なども兼ねて開催しました。

➤ 休眠預金等検討チーム

〔メンバー〕 植田泉、加藤俊也、久保田修三、佐々木貴子、坪井眞里、向田映子、小林幸治

〔開催経過〕 第 1 回：2019 年 4 月 19 日（金）13 時～

第 2 回：2019 年 5 月 16 日（木）10 時～

第 3 回：2019 年 6 月 27 日（木）15 時～

第 4 回：2019 年 8 月 1 日（木）15 時～（4 回の検討会議及び申請をもって終了）

➤ 選考審査会の開催等：書類選考審査会 2 月 3 日（月）、2 月 6 日（木）

選考審査会 3 月 23 日（月）13 時 30 分～18 時

〔選考審査委員〕 上村英明（恵泉女学園大教授）、加藤俊也（会計士）、橘高真佐美（弁護士）、土谷雅美（生活クラブ東京前理事長）、堀越栄子（日本女子大名誉教授）、水口剛（高崎経済大学教授）

➤ 研修会の開催 第 1 回：2019 年 11 月 26 日（火） 松原 明さん（シーズ理事）

第2回：2019年12月5日（木） 津富 宏さん（静岡県立大学教授）

第3回：2020年2月20日（木） 坪郷 實さん（早稲田大学名誉教授）

〔アドバイザー〕坪郷實（認定NPO まちぽっと理事／早稲田大学名誉教授）、三木由希子（認定NPO まちぽっと理事／情報公開クリアリングハウス理事長）、高田幸詩朗（「草の根市民基金・ぐらん」運営委員／国際教育交流協議会（JAFSA）事務局長）

- 〔内定団体〕
- ① NPO 法人 エコ・コミュニケーションセンター（ECOM）（東京都豊島区）
 - ② 特例認定NPO 法人くるみー来未（神奈川県川崎市）
 - ③ NPO 法人 芸術家と子どもたち（東京都豊島区）
 - ④ NPO 法人 コミュサーあおもり（青森県青森市）
 - ⑤ NPO 法人 全国女性シェルターネット（東京都）
 - ⑥ NPO 法人 東京里山開拓団（東京都世田谷区）
 - ⑦ 一般社団法人 栃木県若年者支援機構（栃木県宇都宮市）
 - ⑧ 認定NPO 法人 ビーのビーの（神奈川県横浜市）
 - ⑨ NPO 法人 フリースクール木のねっこ（広島県廿日市市）
 - ⑩ NPO 法人 ワセダクロニクル（東京都港区）

iv. 委託事業、活動支援

8. もうひとつの住まい方推進協議会（AHLA）委託事業

・当初計画：もうひとつの住まい方推進協議会の事務局事務委託事業を引き続き行う。

- 6月にシンポジウムを11月にフォーラムを開催しました。

➤ シンポジウム「みんなの空き家活用とまちづくり」開催

日時・場所：6月15日（土）14時～17時30分／法政大学ボアソナード・タワースカイホール

内容：1部 空き家活用65事例にみる福祉転用の可能性

2部 空き家活用の実践例

ディスカッション 空き家活用とまちづくり

➤ 第14回もうひとつの住まい方推進フォーラム2019の開催

テーマ：住まい方から考える ―多文化・多世代共生を1歩まえに―

日時：11月9日（土）13時00分から18時まで

場所：タワーホール船堀 2F 平安（江戸川区船堀）

主催：第14回もうひとつの住まい方推進フォーラム2019 実行委員会

9. スケルトン定借普及センター委託事業

・当初計画：もうひとつの住まい方推進協議会に加盟する「スケルトン定借普及センター」の事務局事務委託事業を引き続き行う。

- スケルトン定借方式での共同住宅の普及、相談などについて事務事業を行いました。

10. 市民活動、自治体、その他支援・協力

・当初計画

＜市民活動＞全国 NPO バンク連絡会、生活クラブ運動グループ東京連絡会、東京 CPB、インクルーシブ事業連合、NPO 法人アビリティクラブたすけあい (ACT)、市民セクター政策機構、市民政策調査会、など、各種市民活動団体との連携、活動協力などを行う。

＜自治体＞各種事業に関わる自治体からの協力等について、適宜対応することとする。

10-1. 「自治体政策・条例化」に向けた取組み

- 市民セクター政策機構及び市民政策調査会が進めてきた「新しい市民政治 PJ」による「市民が描く社会像 2019」の 30 のテーマを中心にして、具体的な政策化・条例化を進めるため「自治体政策・条例化 研究会」への参加要請があり、その取組みに協力しました。
- 研究会の当面の取組みとして「子ども政策」、「都市農業推進政策」、「政治参加推進政策」をテーマに検討チームを設置し活動を推進してきました。
- 「子ども政策」、「都市農業推進政策」は活動を開始し検討会議、ヒアリング、視察等実施しました。「政治参加推進政策」については準備が整わず取組みを進めることができませんでした。

〔「子ども政策」検討チーム〕

- 主旨：子どもを取り巻く様々な課題について把握し、その課題解決に向けた具体的な取組みを進めるために有効な自治体制度（モデル条例）、仕組みを検討し、提案する。特に、今回は「（意思決定への当事者としての）子どもの参加」を中心にして検討、提案を行います。
- 活動経過
 - ・ 検討会議の開催：9 月 25 日、10 月 16 日、12 月 19 日、1 月 27 日、3 月 25 日
 - ・ 国、自治体、諸外国制度等の調査・整理
「こどもの参画・参加」に関する自治体調査の実施
小金井、豊島などでの取組み（報告）
 - ・ 国、自治体、市民団体関係者等へのヒアリング
千葉市こども未来局こども未来部こども企画課へのヒアリング（11/21）
木下 勇 千葉大学大学院園芸学研究科教授へのヒアリング（12/19）
「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム立川への参加（1/26）

〔「都市農業推進政策」検討チーム〕

- 主旨：食、環境、福祉、エネルギー、など、多角的・多面的な視点から都市農業・都市農地の保全、促進のための制度（モデル条例）案を検討し、提案する。
- 活動内容・経過
 - ・ 検討会議の開催：10 月 7 日、10 月 28 日（あきる野視察）、12 月 3 日、2 月 10 日（小平視察）、3 月 16 日
 - ・ 国、自治体、諸外国制度等の調査・整理
農業公園について（報告）
韓国における学校給食、有機農業等について（報告）
 - ・ 国、自治体、市民団体関係者等へのヒアリング等
北沢 俊春 前一般社団法人東京都農業会議職員（10/7）
生活クラブ農園・あきる野 農場長、農場責任者 冨澤廉さん（10/28）

東京都立あきる野学園（10/28）

NPO 法人 あきる野市障がい者就労・生活支援センターあすく（10/28）

小平市産業振興課 板谷課長、水越さん、小平市教育委員会学務課 笹川さん（2/10）

東京むさし農業協同組合小平支店指導経済課 本多課長、梯さん（2/10）

10-2. 政治（政府）権力・権限集中化の課題と是正に向けた取組み

- 市民政策調査会より開催に向けた準備会合への参加の要請があり、企画等の情報を把握し認定 NPO まちぽっととして準備等について協力してきました。
- 12 月 12 日に第 1 回実行委員会を、2 月 14 日に第 2 回実行委員会を開催し、5 月に第 1 回フォーラムを 7 月に第 2 回フォーラムを開催することとしました。
- その後、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により 5 月開催予定のフォーラムは休止・延期としました。
- 第 1 回フォーラム
 - ・ テーマ 行き過ぎた「権力集中」の是正に向けて ―「憲法」「政治」「行政」の視点から
 - ・ 開催日時 2020 年 5 月 27 日（水）17 時～19 時
 - ・ 開催会場 快・決いい会議室 HALL-B（新宿区歌舞伎町 2-4-10 KDX 東新宿ビル 3F）
 - ・ 登壇者 中北 浩爾 一橋大学教授
西尾 隆 国際基督教大学特任教授
長谷部 恭男 早稲田大学教授
 - ・ 進 行 三木 由希子 情報公開クリアリングハウス理事長

10-3. 「女性が暮らしやすいまち ―女性の安全・安心調査」への協力

- 東京・生活者ネットワークが主体となり、「セクシャルハラスメント」「ドメスティック・バイオレンス（DV）」「性暴力」を個別テーマとして、現状と制度的課題などに関する自治体調査についてデータの集計等についての協力を行いました。

v. 情報発信

11. 季刊誌、書籍発行

11-1. 季刊アドボカシーの発行

・当初計画：主に会員向け季刊誌・情報誌として、市民政策調査会と協力して「季刊アドボカシー」の発行を引き続き進めるが、電子メール等を活用した情報発信（メールマガジン）などもあわせてその在り方について検討を進める。また、研究成果等をまとめた書籍等の発行を必要に応じて進める。

※「季刊アドボカシー」の発行等に関する内容については編集委員会で協議し決定する。

- 季刊アドボカシーの発行を年 4 回から年 2 回とし、A4 判 28 頁から B5 判 48 頁を基本として進めることとしました。
- リニューアル版第 1 号のテーマは「(仮) 外国人・移民政策」として作業を進めました。

- 2019 年 11 月の発行をめざしましたが作業が遅延し、2020 年度早期の発行をめざします。

〔編集委員〕伊藤久雄、金子匡良、小林幸治、佐々木貴子、塩田三恵子、辻利夫、坪郷實、橋本治樹、三浦一浩

12. HP, メールマガジン

- ・当初計画：HP やメールマガジン等で、積極的な情報発信を行っていく。なお、主に会員向け情報の配信にあたっては、季刊誌の発行などと合わせて、その在り方について検討を進めます。

12-1. HP (Web サイト)

- 認定 NPO まちぽっとの HP(Web サイト)でイベント情報や「まちぽっとリサーチ」などの情報を逐次掲載、更新しました。

12-2. メールマガジンの配信

- アドボカシーの発行を年 2 回とすることから、メールマガジンの配信などにより会員をはじめとする多くの方への情報発信についてアドボカシー編集委員会での検討を進めてきました。
- 2020 年度早期の発行をめざして準備を進めます。

13. その他

13-1. 「子ども基金」の検討

- 生活クラブより「子ども基金」の設立に向けた検討のため検討 PJ への参加等の要請があり、メンバーとして参加しました。
- PJ の会議が 3 回開催され答申がまとめられ、名称を「生活クラブエッコロこども基金」として実施することとなりました。
- その具体的な事業活動の設計のため 2 月から「こども基金実行チーム」が設置され、そのメンバーとして参画しました。3 月中には答申がまとめられる予定でしたが、新型コロナウイルス (COVID-19) による影響を受け 4 月以降に延期となりました。
- 検討 PJ 会議：9 月 25 日、11 月 7 日、12 月 13 日
- 実行チーム会議：2 月 18 日、3 月 5 日 (中止)

13-2. 第 4 期中期計画の検証

- 2017 年 4 月～2019 年 3 月を期間とした「第 4 期中期計画」について、「4 つの課題・実施方針」に即して検証のための指標を設定し、各事業活動の実施をもとに下記の通り検証を行いました。
- 別紙「第 4 期中期計画」の検証 (案) を参照。

2019 年度事業一覧

中期計画	事業形態	事業名	財源	備考
i 市民自治・参加・分権の普及と強化による地域/福祉のまちづくり調査研究	独自/継続	1 市民討議会など市民参加手法の実践を通じた討議民主主義の調査研究	—	
	独自/継続	2.NPO法制定記録寄贈、Web公開	自己資金	
	独自/継続	3 市民自治・参加・分権の普及と強化・地域/福祉のまちづくりに関するセミナー事業	参加費 自己資金	
ii 地域/福祉のまちづくり実現のための新規事業立ち上げ	独自	4.コミュニティ政策の調査研究及び地域資源の活用調査事業	自己資金	
iii 市民の主体的活動・事業への助成、支援	独自/継続	5.草の根市民基金・ぐらん	寄付金	
	独自/継続	6-1.ソーシャル・ジャスティス基金	寄付金 助成金	
	独自/新規	6-2.コミレス基金、試行実施		休止
	独自/新規	7.「休眠預金活用法」に基づく資金分配団体への申請（「市民社会強化活動支援事業」（Pecs））	助成金 自己資金	
iv 委託事業、活動支援	委託/継続	8.もうひとつの住まい方推進協議会	委託費 自己資金	
	委託/継続	9.スケルトン定借普及センター委託事業	委託費	
	委託/継続	10.市民活動、自治体、その他支援	委託費	
v 情報発信	独自/継続	11.季刊誌、書籍発行	会費 自己資金	
	独自/継続	12.Webサイト、メールマガジン、SNS	自己資金	

第1号議案 2020年度事業報告

2020年度事業は、第5期中期計画にもとづき事業活動を進めました。

I. 組織運営・財政運営報告（期間：2020年4月1日～2021年3月31日）

*□内は計画

1. 組織運営

1) 会員

近年は設立時から事業テーマが変化し多様なテーマを扱っているため団体の特性が見え難いことなどから、ここ数年会員数が微減しています。2020年度は各種の事業や企画参加、広報活動の強化などを通じて会員の拡充に努めます。

2020年度会員数は、正会員48（団体16、個人32）、賛助会員19（団体10、個人9）、総数67人・団体でした。前年度と比較すると、団体正会員が2減、個人正会員が16減、団体賛助会員が4減、個人賛助会員が10減で、全体で28人・団体の減少でした。会員減少の要因として、COVID-19の影響もあり、また「アドボカシー」の発行が1回に留まるなど、会員等への送付物等が滞っていることがあげられます。

○ 会員数の推移

		2018年度	2019年度	2020年度
正会員	団体	23	18	16
	個人	53	48	32
	計	76	66	48
賛助会員	団体	16	14	10
	個人	20	15	9
	計	36	29	19
総計	団体	39	32	26
	個人	74	63	41
	計	113	95	67

2) 総会

(1) 2020年度通常総会

○ 日時：2020年6月8日（月）14時05分～15時20分

○ 場所：新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル 4階会議室

- ・ 2020年3月末の正会員数68のうち、本総会の出席正会員は16、委任状30、合計有効総数46で正会員の1/2以上の出席により本総会が成立していることを確認し、下記の議案の審議を行いました。
- ・ 2019年度の活動について報告があり、審議の結果、出席者全員の賛成をもって承認されました。
- ・ 2019年度活動計算書・貸借対照表・財務諸表の注記・事業別損益の状況について報告があり、続いて監査報告が行われました。審議の結果、出席者全員の賛成をもって承認されました。
- ・ 2020年度の事業計画案が提案され、審議の結果、出席者全員の賛成をもって承認されました。
- ・ 2020年度予算案が提案され、審議の結果、出席者全員の賛成をもって承認されました。
- ・ 役員の選任案が提案され、審議の結果、出席者全員の賛成をもって承認され、被選任者は役員就任を承諾し

ました。新任理事及び監事、退任理事及び監事は以下のとおりです。

(新任)理事 金子 匡良、工藤 春代、武内 佳恵、豊泉 惣子、桃井 貴子、渡部 真実／監事 辻 利夫

(退任)理事 辻 利夫、西崎 光子、林 泰義／監事 畑山 弘

3)体制等

①理事・監事体制

理事会は理事18名、監事2名体制で運営しました。

【理 事】18名

赤坂 禎博、伊藤 久雄、奥田 雅子、金子 匡良、工藤 春代、小林 幸治、小林 徹也(副理事長)、
佐々木 貴子(理事長)、塩田 三恵子、武内 佳恵、田中 のり子、土屋 真美子、坪郷 實、豊泉 惣子、
三浦 一浩、三木 由希子、桃井 貴子、渡部 真実(副理事長)

【監 事】2名

辻 利夫、矢崎 芽衣

草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)については、市民からの指定寄付金を財源とする助成事業であることから、理事会のもとでの「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」、「SJF 運営委員会」による管理運営を基本とし、その決定事項を理事会で承認しました。

②理事会・役員会

理事会は年間4回程度開催します。理事長、副理事長、事業担当理事等による役員会を隔月での開催を基本として、日常的な事業活動の管理運営、方針・計画案等の作成を行います。

理事会を5回、臨時理事会を1回開催し、理事長、副理事長、事業担当理事、会計担当理事による役員会を7回開催しました。

〔通常総会〕 2020年6月8日

〔理事会〕 第1回 2020年4月6日

臨時理事会 2020年6月8日

第2回 2020年7月13日

第3回 2020年10月5日

第4回 2020年12月23日

第5回 2021年3月19日

〔役員会〕 第1回:2020年4月24日、第2回:6月3日、第3回:6月22日、第4回:8月4日、
第5回:9月24日、第6回:12月10日、第7回:2021年2月26日

③事務局スタッフの体制

事務局体制は、年度当初に1名の退任と1名の新任(再任)採用、8月に1名退職、9月に1名新任採用があり、年度を通じて6名のスタッフで業務を遂行しました。

事務局スタッフ(職員)の継続、新任、再任、退任の状況は下記の通りでした。

- ・ 継続 伊藤 久雄 (研究員:主にまちぼっとリサーチを担当)
- ・ 新任 金 和代(キムファデ:主に市民社会強化活動支援事業を担当(POとして):9月1日より)
- ・ 継続 小林 幸治 (事務局長)
- ・ 継続 瀧川 恵理 (主に SJF を担当)
- ・ 再任 西畑 ありさ(主に草の根市民基金・ぐらんと担当:2020年4月より)
- ・ 継続 深田 祐子 (主に会計・経理、総務を担当)
- ・ 退任 辻 利夫 (主に会計・経理、総務を担当:2020年4月まで)
- ・ 退任 轟木 洋子(主に市民社会強化活動支援事業を担当(POとして):2020年8月まで)

4)その他

①「生活クラブと認定 NPO 法人まちぽっと」組織・政策協議会

COVID-19 の影響により開催できておりませんでした生活クラブ生協・東京の理事長、専務理事、常務理事と本会理事長、副理事長、事業担当理事、会計担当理事による2020年度第1回の組織・政策協議会の下記の通り開催しました。

- ・ 第1回 2021年4月7日(水)13時00分～14時40分/生活クラブ館及びオンライン(出席者8名)

②草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)の運営体制

草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)については、市民からの指定寄付金を財源とする助成事業であることから、理事会のもとでの「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」、「SJF 運営委員会」による管理運営を基本とし、その決定事項を理事会で承認しました。

③事務所の縮小

「市民社会強化活動支援事業(Pecs)」に実施に伴い2019年12月より借用しておりました ASK ビル802号室を、経費の節減及び COVID-19 の影響により返却し事務所を縮小しました。

④会員・寄付者等データベース再構築

会員・寄付者等のデータベースをこれまでファイルメーカーで管理しておりましたが、その管理(入出力、更新等)が特定の職員のみでしか作業できず、寄付者への領収書等の発行作業が円滑に行えないなど、salesforce を活用したデータベースを構築しました。また、寄付方法の多様化を図るためクレジットカード決済などの導入などの準備を並行して進めました。

⑤認定特定非営利活動法人更新申請

認定特定非営利活動法人の認定の有効期間の期限となり、その更新の申請必要な書類等を東京都に提出しました。審査及び決定については 2021 年度 7 月を目途に進められる予定です。

2. 財政運営

1)2020年度財政

本会計は NPO 法人会計基準を採用し、「活動計算書」及び財務諸表を作成しました。また、草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)、市民社会強化活動支援事業(Pecs)は本会計から分離し特別会計としています。

(1)2020年度財政報告

草の根市民基金・ぐらんなは、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により2019年度に実施予定でした都内助成350万円(上限)の実施と、2020年度助成400万円を運営委員会での検討をふまえて行います。そのための生活クラブ組合員による登録寄付を含めて750万円程度の寄付を目標とします。

ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)は、300万円の助成と定期的なアドボカシーカフェの開催を行います。そのための原資の一部として寄付目標を70万円としました。なお、『Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト(SJ連携PJ)』に対する庭野平和財団による助成(3か年予定)が確定しています。市民社会強化活動支援事業(Pecs)は、実行団体への活動助成も含めて約4,309万円の助成により実施します。草の根市民基金・ぐらん及びSJF、Pecs以外の寄付額を250万円、受託事業収益額300万円、助成金・補助金額を300万円を目標額として事業を実施します。

当期正味財産合計は、4,150万5,142円で、昨年度より1,484万8,686円の増額となりました。

各会計部門の内訳は、まちぽっと会計は47万1,566円の増額、特別会計の草の根市民基金・ぐらんなは292万6,087円の減額、ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)は1,730万3,207円の増額となりました。

ただし、草の根市民基金・ぐらんなは会計上は292万6,087円の減額でしたが、助成金支出の766万6000円

には COVID-19 の感染拡大により執行に至らなかった 2019 年度分助成金 347 万円と COVID-19 特別助成 70 万円が含まれており、今年度では実質約 125 万円の増額となり、その多くが生活クラブ組合員の寄付によるものでした。

SJF は 2,156 万 3,100 円の個人寄付(遺贈)および庭野平和財団から 30 万円の助成金を受け正味財産が増額しました。

また、市民社会強化活動支援事業(Pecs)は、休眠預金等活用制度にもとづく指定活用団体一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)より交付された助成金(2019 年度を含めた 2 か年分を 2019 年度に交付:前受金として計上)4,309 万 8,336 円と、「コロナ緊急支援」として交付された助成金 2,324 万 5,000 円を 10 団体の実行団体への助成金 3,948 万 4,270 円と経費 941 万 1,632 円を差し引いた 1,744 万 7,434 円を前受金として貸借対照表に計上しました。

まちぽっと会計は、収入は前年度とほぼ同額でしたが、支出特に人件費が約 260 万円の減額(削減)で約 47 万円の黒字決算となり、正味財産は 381 万 3,821 円となりました。ただし、その正味財産には、事務所賃貸借敷金約 81 万円、出版物の棚卸高約 55 万円、出資金 16 万円が含まれており、実質の資産は 228 万 2,338 円であり、2021 年度の運営資金も厳しい状況です。

● [参考]部門別貸借対照表(2021 年 3 月 31 日現在)

	まちぽっと	SJF部門	草の根市民基金 部門	PECS部門	総計
資産	4,104,821	31,517,563	8,433,725	17,583,632	61,639,741
現預金	2,533,169	31,517,563	8,419,425	17,569,332	60,039,489
未収金	25,879				25,879
立替金					0
前払費用	14,300		14,300	14,300	42,900
棚卸資産	552,867				552,867
敷金	818,606				818,606
出資金	160,000				160,000
負債	291,000	1,718,634	541,333	17,583,632	20,134,599
未払助成金		1,500,000	435,000		1,935,000
未払金	155,339	41,360	106,333	136,198	439,230
前受金		175,000		17,447,434	17,622,434
未払法人税等	70,000				70,000
預り金	65,661	2,274			67,935
正味財産計	3,813,821	29,798,929	7,892,392	0	41,505,142

※ 上記 PECS 部門の前受金 17,447,434 円と「2020 年度財務諸表の注記」(19 頁)の「3. 用途等が制約された寄付・助成金等の内訳」の表の備考 13,932,434 円(前受金として計上)の差額 3,515,000 円は「コロナ緊急支援枠」の助成金の一部で 2021 年度の助成金です。

Ⅱ. 事業活動報告（期間；2020年4月1日～2021年3月31日）

*□内は計画

i. 「市民自治・参加・分権」にもとづく地域・市民社会の強化

地域・市民社会の強化のための調査研究、事業活動への支援、協力、政策・制度、しくみづくり、市民事業活動や自治体議員の担い手づくりのための各種事業活動を継続的に進めます。

1. 「空き家活用・居住支援」事業

「市民・地域居住支援連絡協議会」の活動をはじめとする「空き家活用」及び「住宅確保要配慮者に対する居住・見守り支援の取組み」を継承し、さらに地域資源を活用した地域づくりに向けた事業の実施や政策・制度の改善などの取り組みを進めます。

《事業活動報告》

「市民・地域居住支援推進連絡協議会」を3回開催し、生活クラブ生協・東京による居住支援の取組みをはじめ関係する情報等の共有化とともに、「居住支援学習会」を開催し座間市での居住支援の取組みを学びました。

また、府中での取組みを具体化するため「居住支援市民連絡会・府中」が設置され、相談会の開催などについて「麒麟福祉財団」の助成事業として実施し、協力して進めました。

- 2020年度・第1回「市民・地域居住支援推進連絡協議会」
 - 日時/会場：2020年6月16日10:00～/ASKビル802号室
- 2020年度・第2回「市民・地域居住支援推進連絡協議会」
 - 日時/会場：2020年9月30日15:00～/ASKビル4階会議室
- 2020年度・第3回「市民・地域居住支援推進連絡協議会」
 - 日時/会場：2021年3月9日15:00～/オンライン(Zoom)
- ☆ メンバー：生活クラブ：赤坂慎博、田代謙二、石原由理子、中村あつし、大谷和子/ACT：山木きょう子/生活サポート基金：久保田修三/認定NPO まちぽっと：伊藤久雄、辻利夫/東京・生活者ネットワーク：武内好恵、日向美砂子/まちぽっと兼市民政策調査会：小林幸治
- 府中における居住支援（居住支援市民連絡会・府中）
 - 相談会の開催：11月7日、11月19日/府中市車返団地
- 第1回居住支援学習会
 - 日時：2020年12月9日14:00～/オンライン(Zoom)・生活クラブ館併用
 - ・ テーマ：あらためて住まいの支援を考えよう
座間の取組みから持続可能な活動と自治体とのかかわりを学ぶ
 - ・ プログラム：講演① NPO 法人ワンエイドによる居住支援の取組みとその課題
NPO 法人ワンエイド理事長 松本 篤さん
講演② 座間市における居住支援の取組み
座間市生活援護課自立サポート担当 武藤 清哉さん

2. 「まちぽっとセミナー」等開催事業

「まちぽっとセミナー」の開催をはじめ、自治体政策・制度等に関わる課題について学び、考え、対話する場を設け、地域・自治体づくりに向けた取り組みを進めます。

《事業活動報告》

まちぽっとセミナー2020の開催に向けて検討委員会にて検討を進めましたが、COVID-19の影響もありまたテーマの設定などができず開催に至りませんでした。

- 検討委員：伊藤久雄、小林幸治、武内佳恵、辻利夫、畑山弘、日向美砂子、三浦一浩
- まちぽっとセミナー検討委員会
 - 日時：2020年6月29日15時～/オンライン
- オンライン・レクチャー
 - 日時：2020年7月27日(月)14時～
 - 内容：「新しい『公共空間』をつくる」をテーマに林和孝さんからレクチャー

3.「自治体政策・制度」調査研究事業

「自治体政策・条例化 研究会」への参加及び協力などをはじめ、個別テーマによる調査研究を進め、自治体政策・制度づくりに取り組みます。

《事業活動報告》

市民セクター政策機構及び市民政策調査会が主体となり進められた「市民が描く社会像 2019—自治体政策リスト 30」をもとに具体的な自治体政策づくりに向けた取組みに協力しました。「こども政策検討チーム」と「都市農業推進政策検討チーム」により具体的な取組みが進められ、2020年10月に第一次報告をまとめ報告提案フォーラムが開催され、その準備等に協力して進めました。

- 子ども政策検討チーム
 - テーマ：多様な子どもの参加・参画の場をつくる
 - メンバー：岩永 康代(国分寺・生活者ネットワーク/国分寺市議)/岩本 博子(小平・生活者ネットワーク/元小平市議)/小林 幸治(市民政策調査会、認定 NPO まちぽっと：事務局)/齋藤 万紀子(埼玉県市民ネットワーク/羽生市議)/田頭 ゆう子(小金井・生活者ネットワーク/小金井市議)/西埜 なお美(府中・生活者ネットワーク/府中市議)/橋本 牧(市民セクター政策機構/元練馬区議)/日向 美砂子(東京・生活者ネットワーク/前小平市議)/村上 典子(豊島・生活者ネットワーク/前豊島区議)
- 都市農業推進政策検討チーム
 - テーマ：都市農業の振興により農業・農地を守り育む
 - メンバー：伊藤 久雄(認定 NPO まちぽっと理事)/岩田 京子(埼玉県市民ネットワーク/吉川市議)/古池 初美(日野・生活者ネットワーク・元日野市議)/後藤 ゆう子(西東京・生活者ネットワーク/西東京市議)/小林 幸治(事務局：認定 NPO まちぽっとと理事兼事務局長、市民政策調査会)/佐藤 悦子(小平・生活者ネットワーク/小平市議)/白井 和宏(市民セクター政策機構専務理事)/苗村 洋子(都議会生活者ネットワーク)/武内 好恵(東京・生活者ネットワーク/元多摩市議)/《アドバイザー》大江 正章(株コモンズ代表)
- 報告提案フォーラムの開催
 - 日 時：2020年10月28日(水)17時～19時
 - 会場等：東京・生活者ネットワーク会議室及びオンライン(ZOOM)

4.「市民事業・自治体議員研修」事業

市民自治・分権・参加の普及と強化のため、市民社会の担い手となる主に市民や自治体議員・職員などを対象とした学習会・研修会等、学びの場づくりを進めます。

《事業活動報告》

学習会・研修会等、学びの場づくりなどの活動には至りませんでした。

5. ケアラー支援調査プロジェクト

《事業活動報告》

介護の社会化としてスタートした介護保険制度は開始から20年経ったが、依然として高齢者介護は家族頼みの

状況で、障がい者ケアも同様です。家族のあり方や個人のライフスタイルが多様化したいま、家族をケアする人の状況もさまざまであり、一人ひとりの状況を踏まえたきめ細やかな支援がさらに求められています。ケアを受ける当事者だけでなく、家族もまた個人として充実した生活と人生を送るために必要な地域での支援とは何かを探り提案するため以下調査1及び2を実施しました。

その結果として、生活クラブ組合員を対象としたアンケート調査を実施し、その集計を行い生活クラブ生協・東京に提出し、プロジェクトメンバーを主な対象としたオンラインでの報告を行いました。インタビュー調査については東京・生活者ネットワーク関係者を中心に実施し、その結果について内部報告等を行いました。

なお、ケアラー支援制度等の検討については継続して進めることとしました。

- 内容:調査 1. ケアラーの現状と課題を知るための聞き取り調査

- 1)調査のための学習会

- ・ 開催日:2020 年 10 月 22 日(木)14 時～16 時 30 分
 - ・ 講師:堀越栄子さん(日本女子大学名誉教授/日本ケアラー連盟共同代表)

- 2)聞き取り調査

- 東京・生活者ネットワーク関係者を中心に約 20 名のケアラーに聞き取り(インタビュー)調査を実施しました。

- 調査 2)ケアの現状と課題を知るためのアンケート調査

生活クラブ・東京が調査主体となり組合員約 7 万人を対象に実施し、約 4 千人から回答が得られました。認定 NPO 法人まちぽっとでその集計を行い図表等も含めた調査結果を生活クラブに提出しました。調査結果は生活クラブ・東京の WEB サイトで公表する予定です。

- 実施主体 「ケアラー支援政策」検討プロジェクト

- 事務局 認定NPO法人まちぽっと／東京・生活者ネットワーク政策調査室

ii. 市民の主体的活動・事業への支援

これまで実施してきた市民の主体的活動・事業への支援にかかわる事業活動を継続するとともに、その取り組みの強化を図ります。

6. 草の根市民基金・ぐらん

都内で活動する市民団体及びアジアを支援する日本の市民団体を支援する助成基金として、「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」のもとで助成事業及び交流事業の取り組みを引き続き進めます。

《事業活動報告》

2019年度助成・2020年度活動団体の選考が COVID-19 の影響により 2019 年度内での実施ができず、7 月にオンラインにて非公開での選考会となり、その結果としてアジア草の根助成(新規)と都内草の根助成で7団体への助成が決定しました。その影響により運営委員会も例年よりも多くの開催が必要となりました。

2020年度助成・2021年度活動団体についてはオンラインを基本とした公開での選考会として開催し、その結果としてアジア草の根助成(新規)と都内草の根助成で8団体への助成が決定しました。

助成団体との交流・学習企画として助成団体の関係者をゲストとした交流学習会をオンラインで2回開催し、ニュースレターも3回発行しました。

アジア草の根助成の NPO 法人 Stand with Syria Japan から、COVID-19 の影響により助成事業の遂行が困難となり、2021 年度継続助成辞退の申し出があり、2020 年度で終了としました。

- 運営委員:[運営委員長]田中のり子 [運営副委員長]奥田雅子

- [運営委員]相原光子、木村はるみ、桑原理佐、小松久子、高橋亮介、高田幸詩朗、鶴島佳子、牧田東一、三浦一浩、山木きょう子、山口ミツ子

- 2019 年度助成・2020 年度活動団体
 - <アジア草の根助成(継続)>
 - ① NPO 法人アクセプト・インターナショナル(50 万円)
 - ② NPO 法人ホープフル・タッチ(50 万円)
 - <アジア草の根助成(新規)>
 - ① NPO 法人 Stand with Syria Japan(50 万円)
 - <都内草の根助成>
 - ① 一般社団法人ミナー(48 万円)
 - ② NPO 法人 POSSE(50 万円)
 - ③ LGBT ハウジングファーストを考える会・東京(50 万円)
 - ④ 認定 NPO 法人アトピizzi地球の子ネットワーク(50 万円)
 - ⑤ 非営利型一般社団法人日本福祉環境整備機構(49 万円)
 - ⑥ NPO 法人 Lino(50 万円)
- 草の根市民基金・ぐらん『COVID-19 対策特別助成』
- 特別助成団体
 - ① 非営利型一般社団法人日本福祉環境整備機構(10万円)
 - ② 特定非営利活動法人日本・バンングラデシュ文化交流会(10万円)
 - ③ NPO 法人楽の会リーラ(10万円)
 - ④ 一般社団法人東京TSネット(10万円)
 - ⑤ 特定非営利活動法人反レイシズム情報センター(10万円)
 - ⑥ 特定非営利活動法人 POSSE(10万円)
 - ⑦ 特定非営利活動法人オン・ザ・ロード(10万円)
- 2020 年度助成・2021 年度活動団体
 - <アジア草の根助成(継続辞退)>
 - ① NPO 法人 Stand with Syria Japan(50 万円)
 - <アジア草の根助成(新規)>
 - ① 一般社団法人平和村ユナイテッド(50 万円)
 - <都内草の根助成>
 - ① 子育て親育ての会(46 万円)
 - ② NPO 法人しょーとてんぱー(50 万円)
 - ③ 特定非営利活動法人柏の友(50 万円)
 - ④ NPO 法人 市民電力連絡会(45 万円)
 - ⑤ しっぷろ(43.5 万円)
 - ⑥ 調布市難聴者体操の会(15.1 万円)
 - ⑦ クリエイティブシェルパ(50 万円)
- 「2019年度助成・2020年度活動団体」オンライン選考会の開催
 - 開催日:2020 年 6 月 19 日(金)15 時~17 時
- 「2020年度助成・2021年度活動団体」公開選考会の開催
 - 開催日:2020 年 2 月 27 日(土)13時~16時
 - 開催方法:生活クラブ館及びオンライン(Zoom)
- 助成団体との交流・学習企画
 - ① 第 1 回交流学習会
 - 開催日:2020 年 10 月 27 日(火)14 時~16 時

- 会場等:生活クラブ館 203 会議室及びオンライン(Zoom)
- テーマ:社会的養護の現状と必要な支援 …人のつながりでこどもの未来をつくる
- ゲスト:大山 遥さん(NPO 法人チャイボラ代表)
- ② 第 2 回交流学習会
 - 開催日:2021 年 1 月 23 日(土)14 時~16 時
 - 会場等:ASK ビル 4F 会議室(新宿歌舞伎町 2-19-13)及びオンライン(Zoom)による
 - テーマ:福祉的な支援が必要な被疑者、被告人の現状と必要な支援
 - ゲスト:中田 雅久さん(一般社団法人東京 TS ネット代表理事)
- ニュースレターの発行
 - No.30 2020年5月発行
 - No.31 2020年9月発行
 - No.32 2021年2月発行

7. ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

「社会的公正」を目指してアドボカシー活動を行う市民団体を支援する助成基金として、「ソーシャル・ジャスティス基金運営委員会」のもとで助成事業を進めるとともに、企画委員会のもとでアドボカシーカフェとして対話事業の取り組みを進めます。また、「Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト」を 3 年計画で進めます。

《事業活動報告》

2020年度は第9回助成団体として4団体を選考し助成を行い、2021年1月に助成発表フォーラムを開催しました。アドボカシーカフェは6回開催し、その記録も WEB サイトで公開しました。昨年度より進めてきましたオープンソサエティ財団の助成事業にもとづき JANIC で進められた事業協力については2020年度で終了しました。

- 運営委員:上村英明(恵泉女学園大学、市民外交センター*運営委員長)、金子匡良(法政大学教授/まちぼつと理事)、佐々木貴子(まちぼつと理事長)、土屋真美子(まちぼつと理事)
- 選考委員:上村英明、金子匡良、佐々木貴子、轟木洋子(元シーズ・元アムネスティ)、大河内秀人、(見樹院住職・子どもの権利条約普及関連活動)、土肥潤也(NPO 法人わかもののまち代表理事)、仲野省吾(庭野平和財団)
- 企画委員:土屋真美子、辻利夫、大河内秀人、寺中誠(大学教員・国際人権法専門)
- 第 9 回助成団体
 - ① NPO 法人 Accept International(100 万円)
 - ② NPO 法人 FoE Japan(100 万円)
 - ③ ジュマ・ネット(100 万円)
 - ④ NPO 法人 ASTA(50 万円)
- 助成発表フォーラム第 9 回
 - 日時:2021 年 1 月 22 日 13:30~16:00
 - 会場:オンライン開催
- アドボカシーカフェ
 - 第 64 回:海外開発ビジネスと人権・地球温暖化—環境社会配慮ガイドラインと市民活動のこれから
 - ・ 日時:6 月 2 日(火)14:00~16:30/オンライン開催
 - ・ 登壇者:酒井功雄さん(Fridays For Future Tokyo)
 - 木口由香さん(メコン・ウォッチ)
 - 第 65 回:若者の妊娠葛藤の背景にある社会課題
 - 相談支援から見えてきたこと、市民のみなさんとできること

- ・ 日時:8月3日(月)13:30~16:00/オンライン開催
- ・ 登壇者:松下清美さん(ピッコラーレ相談支援員/社会福祉士)
細金和子さん(慈愛寮元施設長)
- 第63回:“LGBT”をきっかけとして人権・多様性について“自分ごと”で考える対話
 - ・ 日時:9月5日(土)13:30~16:00/オンライン開催
 - ・ 登壇者:NPO 法人 ASTA
性的マイノリティ当事者やその家族・友人たち
- 第66回:忘れられた小児甲状腺がん患者たち
声を上げられない当事者にどう寄り添い、可視化するのか
 - ・ 10月3日(土)13:30~16:00/オンライン開催
 - ・ ゲスト:千葉親子さん(甲状腺がん支援グループ あじさいの会設立者)
太陽さん(小児甲状腺がん患者)
白石草さん(OurPlanet-TV 代表理事)
- 第67回:“他者への想像力”を〜日韓の歴史認識をめぐる問題にジャーナリストと共に目を向けて〜
 - ・ 10月31日(土)13:30~16:00/オンライン開催・日韓同時通訳付き
 - ・ ゲスト:植村隆さん(ジャーナリストを目指す日韓学生フォーラム実行委員会代表)
西嶋真司さん(映像作家)
「ジャーナリストを目指す日韓学生フォーラム」に参加し、現在メディアで働く記者や
学生:猪股修平さん(中国新聞)・李悛喆イソラさん(韓国カトリック大学生)・権大鉦
クオンデオクさん(韓国兵役中)・南真臣さん(京都新聞)・姜明錫カンミョンソクさん
(韓国 youtuber)
- 第62回:生きる―重い罪を犯した人の社会復帰と刑罰のあり方―
 - ・ 3月2日(火)13:30~16:00/オンライン開催
 - ・ ゲスト:古畑恒雄さん(弁護士・更生保護法人「更新会」理事長)
マヒル・リラックスさん(トランスジェンダー コラムニスト)
塩田祐子さん(監獄人権センター)

8. 市民社会強化活動支援事業(Pecs)

休眠預金等交付金を活用して、2020年度から全国10団体への助成活動を通じて地域・市民社会の強化をめざし、そのための仕組みづくりや制度の改善なども中長期的な目標として取り組みます。

《事業活動報告》

2020年4月から実行団体10団体の活動が開始されましたが、COVID-19の影響により活動の一時停止や計画の変更などが生じた団体も少なくなく、JANPIAによりコロナ緊急支援が実施されその申請を行い実行団体8団体への緊急助成を行いました。当初予定していた実行団体への訪問も4団体のみとなり、月次ミーティングなどもオンラインでの実施となりました。PO研修は役員研修も兼ねて6回開催し、各回ゲストによるオンラインでの開催となりました。

- 実行団体(※印は、緊急支援枠による助成も実施した団体)
 - ① NPO 法人 エコ・コミュニケーションセンター (ECOM) (東京都豊島区)
 - ② 特例認定 NPO 法人くるみー来未(神奈川県川崎市)※
 - ③ NPO 法人 芸術家と子どもたち(東京都豊島区)※
 - ④ NPO法人 コミュサーあおもり(青森県青森市)※
 - ⑤ NPO 法人 全国女性シェルターネット(東京都)※

- ⑥ NPO 法人 東京里山開拓団(東京都世田谷区)
- ⑦ 一般社団法人 栃木県若年者支援機構(栃木県宇都宮市)※
- ⑧ 認定 NPO 法人 ビーのびーの(神奈川県横浜市)※
- ⑨ NPO 法人 フリースクール木のねっこ(広島県廿日市市)※
- ⑩ NPO法人 Tansa(ワセダクロニクルから名称変更)(東京都港区)※
- 選考審査委員:上村英明(恵泉女学園大教授)、加藤俊也(会計士)、橘高真佐美(弁護士)、土谷雅美(生活クラブ東京前理事長)、堀越栄子(日本女子大名誉教授)、水口剛(高崎経済大学教授)
- アドバイザー:坪郷實(認定 NPO まちぽっと理事/早稲田大学名誉教授)、三木由希子(認定 NPO まちぽっと理事/情報公開クリアリングハウス理事長)、高田幸詩朗(「草の根市民基金・ぐらん」運営委員/国際教育交流協議会(JAFSA)事務局長)
- PO 研修の開催
 - 第 4 回 PO 研修(役員・職員研修として)
 - ・ 日 時:2020 年 6 月 26 日(金)13 時 30 分~16 時
 - ・ 会 場:オンライン(Zoom)による
 - ・ テーマ:市民活動・市民事業と評価 ―その必要性と活かし方
 - ・ 講 師:今田 克司さん((一財)CSO ネットワーク常務理事/(特活)日本 NPO センター理事)
 - 第 5 回 PO 研修(役員・職員研修として)
 - ・ 日 時:2020 年 9 月 28 日(月)13 時 30 分~16 時
 - ・ 会 場:オンライン(Zoom)による
 - ・ テーマ:NPO・市民活動のこれまでとこれから ―アカツキの活動から
 - ・ 講 師:永田 賢介さん(認定 NPO 法人アカツキ理事・職員)
 - 第 6 回 PO 研修(役員・職員研修として)
 - ・ 日 時:2020 年 10 月 29 日(木)14 時~16 時 30 分
 - ・ 会 場:オンライン(Zoom)による
 - ・ テーマ:英国のボランタリーセクターと中間支援組織の変容
 - ・ 講 師:中島 智人さん(産業能率大学経営学部 教授)
 - 第 7 回 PO 研修(役員・職員研修として)
 - ・ 日 時:11 月 30 日(月)14 時~16 時 30 分
 - ・ 会 場:オンライン(Zoom)による
 - ・ テーマ:気候危機と市民活動
 - ・ 講 師:桃井 貴子さん(気候ネットワーク東京事務所長/認定 NPO 法人まちぽっと理事)
 - 第8回 PO 研修(役員・職員研修として)
 - ・ 日 時:2021 年 2 月 10 日(水)14 時~16 時 30 分
 - ・ 開催方法:オンライン(Zoom)による
 - ・ テーマ:プログラム・オフィサー(PO)のしごと …みらいファンド沖縄の活動から
 - ・ 講 師:平良 斗星さん(公益財団法人 みらいファンド沖縄副代表理事)
 - 第9回 PO 研修(役員・職員研修として)
 - ・ 日 時:2021 年 3 月 4 日(木)13 時~15 時 30 分
 - ・ 会 場:オンライン(Zoom)による
 - ・ テーマ:市民活動団体における活動・組織運営のための資金調達
…寄付文化の醸成に向けて必要な取組み
 - ・ 講 師:鵜尾 雅隆さん(日本ファンドレイジング協会 代表理事)

iii. 市民活動との連携・協力による市民事業の推進、情報の発信

多様な市民活動団体との連携・協力により、市民事業の発展や創出、推進に向けた取り組みを進めます。

9. NPO 法制定記録寄贈、HP 公開

NPO 法制定時の記録文書の国立公文書館への寄贈等に向けた作業を継続して進めます。

《事業活動報告》

国立公文書館での受入れに向けた手続きが煩雑なことや COVID-19 の影響もあり、寄贈の作業が進まず頓挫した状況です。他の方法で閲覧可能な状態にするなど、その対応を検討し進めることとしました。

10. 「政治(政府)権力・権限集中化」の課題と是正に向けた取り組みへの協力

国政政党、政府機構による行き過ぎた政治権力の是正のための政策・制度等の検討に向けた取り組みに協力し、地方分権改革に向けた取り組みを進めます。

《事業活動報告》

関連団体と協力のもとに進めてきましたが、COVID-19 の影響などにより準備を進めることができず開催に至りませんでした。

11. 季刊誌、書籍等の発行

主に会員向け季刊誌・情報誌として、市民政策調査会と協力して「季刊アドボカシー」の発行を引き続き進めますが、そのあり方について引き続き検討します。

《事業活動報告》

編集委員会での検討をふまえて季刊アドボカシーをB5判48頁にリニューアルし年2回の発行として15号を発行しました。しかし、年2回の発行に至りませんでした。

- 編集委員：伊藤久雄、金子匡良、小林幸治、佐々木貴子、塩田三恵子、辻利夫、坪郷實、橋本治樹、三浦一浩
- 「アドボカシー」No.15 発行
 - 2020年7月25日/B5判 48頁/300部
 - 特集 出入国管理法改正—移民・移住労働者とともにつくる豊かな社会を
 - ・ 当事者の声を「移民基本法」に —移民一人ひとりと共に生きる社会へ
 - ・ 日本の外国人政策とその課題 —外国人労働者受け入れ拡大をめぐる
 - ・ 移民・移住労働者に関わる国連・韓国の動き
 - ・ 新たな外国人材の受入れ —入管法等改正の経緯・背景とその概要
 - ・ 自治体の取り組み —新宿区の取組みから考える
 - ・ Advocacy Column 外国人・移民と憲法
 - ・ 認定 NPO 法人まちぽっと活動ニュース

12. Web サイトの更新及びメールマガジン等の配信

WEBサイトの更新を逐次進めるとともに、メールマガジンを発行し積極的な情報発信を進めます。

《事業活動報告》

認定 NPO 法人まちぽっとの事業活動や関連団体の情報を発信するためメールマガジンの配信を開始しました。

- メールマガまちぽっと・準備号の配信：6月25日、7月27日、8月18日、9月22日、10月6日(臨時号)、10月20日、11月18日、12月20日、2021年1月20日、2月24日、3月23日
- メールマガ登録者数：72名(2021年3月23日現在)

13.「ブックレット作成」等受託

《事業活動報告》

立憲民主党から業務の依頼があり、1)つながる本部&障がい・難病 PT ヒアリング、2)NPO 関連予算公開ヒアリング、3)COVID-19(新型コロナウイルス感染症)による市民活動団体への影響調査、について受託し作業を進めました。1)については報告書の作成を、2)については準備作業の補助を、3)については調査の実施、集計を行いました。

1)「つながる本部&障がい・難病 PT ヒアリング」報告書

- タイトル:新型コロナウイルス感染症第3波 ～政治に私たちが見えていますか？
- 読者対象:障がい者、障がい者団体関係者をはじめ有権者等(党所属議員の各所訪問の際の配布物などとしても活用)
- 企画意図:つながる本部&障がい・難病 PT をはじめ立憲民主党の取組みを周知し支援の拡大を図る
- 企画概要:「つながる本部&障がい・難病 PT ヒアリング」の記録を主な内容とする
- 形態:A4 判 48 頁+表 4 中綴じ

2)「NPO 関連予算公開ヒアリング」への協力

- 開催日:2月17日(水)
- 協力内容:企画協力、開催準備

3)「COVID-19(新型コロナウイルス感染症)による市民活動団体への影響調査」への協力

- 協力内容:アンケート項目の作成、結果の集計・整理

14. その他の連携・協力等

1)「子ども基金」への協力

生活クラブ生協が進める「生活クラブエコロこども基金」の活動について、これまで進めてきた各種事業を通じて助言、協力を行い、豊かな地域づくりに向けた取り組みを進めます。

《事業活動報告》

「生活クラブ・子ども基金」の審査委員として小林理事兼事務局長が3回の審査委員会に参加しました。

- 協力内容:「生活クラブエコロこども基金」審査会への参加
 - 役割:審査会は助成事業の申請に基づき審査を行い、東京理事会に承認を諮る。また特定・協働型支援およびその他事業の団体の審査を行い、東京理事会に承認を諮る。
 - 構成:生活クラブ(東京・各ブロック)、運動グループの活動団体(PJ 参加団体から)、認定 NPO 法人まちぼと、学識経験者 事務局・生活クラブ東京
- 審査会の開催
 - ・ 第1回:10月8日、第2回:11月5日、第3回:2021年3月10日

2)東京 CPB への参加・協力

東京コミュニティパワーバンク(東京CPB)の役員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

3)生活クラブ運動グループ・東京連絡会

生活クラブ運動グループ・東京連絡会に運営委員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

4)インクルーシブ事業連合への参加・協力

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合の運営委員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

5)アビリティクラブたすけあい(ACT)への参加・協力

アビリティクラブたすけあい(ACT)の役員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

《事業活動報告》

2)東京 CPB への参加・協力については理事として、3)生活クラブ運動グループ・東京連絡会については運営委員として、4)インクルーシブ事業連合への参加・協力については運営委員として佐々木理事長が参加し、5)アビリティクラブたすけあい(ACT)への参加・協力については小林理事兼事務局長が理事として参加しました。

iv. 事業・経営基盤の安定化及び組織・運営体制の強化

第5期中期計画にもとづき、事業毎にその検証と見直しを図りその強化を進めます。また、同時に人事等の見直しにより組織・運営体制の強化を図ります。

- ＊ 事業活動毎に「経営基盤の強化・安定化、目的や効果などについて各事業活動の検証と見直し」、「組織運営体制の強化のための人材の確保」などを順次進めます。

15. 理事懇談会の開催

《事業活動報告》

認定 NPO 法人まちぼっとの現状の事業活動をふり振り返り今後の方向性を確認することを目的にして、役員及び事務局スタッフの参加のもとに2020年度理事懇談会を3回開催し、「2020年度理事懇談会報告」としてまとめました。

- 第1回:2020年7月13日18:00~17:30
 - 内容:1.事業活動経過報告
 - 2.質疑・意見交換
- 第2回:2020年10月5日(月)15:00~16:30
 - 内容:1.事業活動経過報告
 - 2.質疑・意見交換
- 第3回:2020年12月23日(水)16時00分~17時00分
 - 内容:理事懇談会まとめについて

2020年度事業一覧

中期計画による 事業目標	実施形態	事業名	財源	担当理事等 (備考)
i. 「市民自治・参加・分権」にもとづく地域・市民社会の強化	独自/継続	1. 「空き家活用・居住支援」事業	一部助成金	赤坂、伊藤、小林(幸)
	独自/継続	2. 「まちぽっとセミナー」等開催事業	自己資金 参加費	伊藤、三浦 武内、小林(幸)
	独自/継続	3. 「自治体政策・制度」調査研究事業	自己資金	坪郷、小林(幸)
	独自/継続	4. 「市民事業・自治体議員研修」事業	自己資金	小林(幸)
	独自/継続	5. ケアラー支援調査プロジェクト	受託費	小林(幸)
ii. 市民の主体的活動・事業への支援	独自/継続	6. 草の根市民基金・ぐらん	寄付金	田中、奥田 三浦、小林(幸)
	独自/継続	7. ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)	寄付金 助成金	佐々木、金子
	独自/継続	8. 市民社会強化活動支援事業(Pecs)	助成金	坪郷、三木、 小林(幸)
iii. 市民活動との連携・協力による市民事業の推進、情報の発信	独自/継続	9. NPO 法制定記録寄贈、HP 公開	自己資金	辻 ^{注)}
	独自/新規	10. 「政治(政府)権力・権限集中化」の課題と是正に向けた取り組みへの協力	自己資金	小林(幸) (終了)
	独自/継続	11. 季刊誌、書籍等の発行	会費 自己資金	伊藤、金子、塩田、佐々木、 坪郷、三浦、小林(幸)
	独自/ 一部新規	12. Web サイトの更新及びメールマガジン等の配信	自己資金	小林(幸)
	独自/新規	13. 「ブックレット作成」等委託	委託費	小林(幸)(終了)
	独自/継続	14. その他の連携・協力等	報酬 自己資金	適宜対応
iv. 事業・経営基盤の安定化及び組織・運営体制の強化	独自/新規	15. 理事懇談会の開催	自己資金	理事会 (2020 年度終了)

※ 「担当理事等」については、各事業の運営委員、アドバイザー、編集委員、等でご参画いただいている役員の方々も含めてお示しました。

※ 注)については、現在は監事ですが前職で業務を遂行されており担当理事等の変更がされておられませんのでお示しました。

2021 年度事業報告

I. 2021 年度組織・財政運営

1. 組織運営

1) 会員

ここ数年会員数が微減しており、昨年度は COVID-19 の影響もありさらに減少となりました。2021 年度は各種事業活動と並行して広報活動の強化などを通じて会員の拡充に努めます。

○ 会員状況（2021 年 12 月末現在）

種別		2019 年度	2020 年度	2021 年度
正会員	団 体	18	16	14
	個 人	48	32	31
	計	66	48	45
賛助会員	団 体	14	10	18
	個 人	15	9	10
	計	29	19	28
総計	団 体	32	26	32
	個 人	63	41	41
	計	95	67	73

2) 役員・事務局体制

以下の役員及び事務局体制で運営にあたります。

< 理 事 > (18 名)

赤坂 禎博、伊藤 久雄、奥田 雅子、金子 匡良、工藤 春代、小林 幸治、小林 徹也、小寺 浩子、佐々木 貴子、塩田 三恵子、武内 好恵、土屋 真美子、坪郷 實、豊泉 惣子、三浦 一浩、三木 由希子、桃井 貴子、渡部 真実

< 監 事 > (2 名)

辻 利夫、矢崎 芽生

< 事務局 (主な担当業務等) > (6 名 + アルバイト 1 名)

伊藤 久雄 (研究スタッフ)、金 和代 (Pecs)、小林 幸治 (事務局長)、瀧川 恵理 (SJF)、西畑 ありさ (広報)、深田 祐子 (会計総務)

※アルバイトスタッフ: 姜 海仁 (カンヘイン: Pecs 業務補助)

○ 役員の辞任

当初は上記 18 名の理事により運営にあたり、途中 2 名の理事が辞任 (退任) しました。

退任 (辞任)	理事	塩田 三恵子	2021 年 6 月
	理事	小林 徹也	2021 年 9 月

3) 総会・理事会・役員会

理事会は年間4回程度開催します。理事長、副理事長、事業担当理事等による役員会を隔月での開催を基本として、日常的な事業活動の管理運営、方針・計画案等の作成を行います。

- 通常総会
 - ・ 2021年6月4日(金) 18時00分～19時12分/オンライン (Zoom)・東京・生活者ネットワーク会議室併用
- 臨時総会
 - ・ 2021年8月25日(水) 17時00分～17時25分/オンライン (Zoom)
- 理事会
 - ・ 第1回 2021年5月13日(木) 10時00分～12時05分/オンライン (Zoom)
 - ・ 臨時理事会 2021年7月5日(月) 18時00分～19時51分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第2回 2021年8月4日(水) 14時00分～15時50分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第3回 2021年10月25日(月) 13時00分～15時30分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第4回 2021年12月2日(木) 17時00～19時15分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第5回 2022年2月2日(水) 10時00分～12時5分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第6回 2022年3月3日(木) 15時00分～17時15分/オンライン (Zoom)
- 役員会
 - ・ 第1回 2021年4月26日(月) 17時00分～19時00分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第2回 2021年7月6日(火) 15時00分～17時00分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第3回 2021年7月23日(金) 10時30分～12時00分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第4回 2021年8月30日(金) 10時30分～12時00分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第5回 2021年9月21日(火) 10時00分～12時00分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第6回 2021年10月15日(金) 17時00分～19時00分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第7回 2022年1月14日(金) 10時00分～12時05分/オンライン (Zoom)
 - ・ 第8回 2022年3月2日(水) 17時30分～19時10分/オンライン (Zoom)

4) 草の根市民基金・ぐらん

「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」による管理運営を基本とし、その決定事項を認定 NPO 法人まちぽっと理事会で承認し、実行します。

5) ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF)

「ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF) 運営委員会」による管理運営を基本とし、その決定事項をまちぽっと理事会で承認し実行します。

6) 認定 NPO 法人の失効

- ・ 3月末に認定 NPO 法人更新申請書等を提出。
- ・ 6月末に認定 NPO 法人更新申請時の理事1名が NPO 法人認証の取り消しを受けた他の NPO 法人の役員をしており、NPO 法 ((欠格事由) 第20条の5) に抵触することが発覚。

- ・ 7月5日に臨時理事会を開催し、認定 NPO 法人更新申請の取り下げを確認し、7月6日付けて取り下げ申請書を提出。
- ・ 7月27日に認定 NPO 法人の満了の日となり失効

7) コンプライアンス委員会

● 設置

○ 趣旨・目的

- ・ 認定 NPO 法人の失効にかかる事案について検証し、その防止策を講じる
- ・ NPO 法はじめ、その他法令に抵触する事案が生じることのないしくみを検討することを目的として、コンプライアンス委員会を設置する。

○ 検討事項

- ・ 認定 NPO 法人の失効にかかる事案の検証及び防止策について
- ・ NPO 法はじめ、その他法令に抵触する事案の抽出について
- ・ 1) 及び 2) にかかる各種規程類の見直しについて
- ・ その他、必要な事項

○ 期 間 2021 年 9 月 20 日～2022 年 3 月 31 日

○ コンプライアンス委員会・委員（敬称略）

- ・ 加藤 俊也 会計士/NPO 会計税務専門家ネットワーク
- ・ 藤井 麻莉 弁護士/NPO のための弁護士ネットワーク（N 弁）
- ・ 坪郷 實 NPO 法人まちぽっと理事/早稲田大学名誉教授/市民政策調査会代表：委員長
- ・ 土屋 真美子 NPO 法人まちぽっと理事/アクションポート横浜

○ 開催状況

第 1 回：2021 年 10 月 1 日（金）14 時 30 分～16 時/オンライン（Zoom）

第 2 回：2021 年 11 月 17 日（水）17 時～18 時/オンライン（Zoom）

第 3 回：2022 年 1 月 13 日（木）17 時～18 時 30 分/オンライン（Zoom）

第 4 回：2022 年 2 月 8 日（火）17 時～18 時/オンライン（Zoom）

○ 報告：2022 年 2 月 28 日付け委員会報告を提出

8) 名称の変更（登記終了）

（旧）認定特定非営利活動法人まちぽっと

（新）特定非営利活動法人まちぽっと

2. 財政運営

1) 活動予算

草の根市民基金・ぐらんは、例年通り都内草の根助成 350 万円(上限)、アジア草の根助成 100 万円(上限:継続含む)の実施を予定しています。

ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)は、300 万円の助成と定期的なアドボカシーカフェの開催を行います。庭野平和財団の助成(3 か年予定)による『Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト(SJ 連携 PJ)』の 2 年目の活動を進めます。

市民社会強化活動支援事業(Pecs)は、実行団体への活動助成も含めて約 4,964 万円の助成により実施します。

草の根市民基金・ぐらん及び SJF、Pecs 以外の寄付額を 250 万円、受託事業収益額 300 万円、助成金・補助金額を100万円を目標額として事業を実施します。

2) 財政課題

本会計は、繰越金に余裕がないため各事業において収益性を確認しながら事業を進めるとともに、新たな収益事業の確保に努めていきます。

また、抜本的な解決に向けて第 5 期中期計画にもとづき各事業の検証、見直しも含めて財政の持続可能性を図ります。

3) 認定 NPO 法人の失効に伴う雑損失及び指定寄付等

租税特別措置法により相続税の特例(税制優遇)については「寄附を受けた日から2年を経過した日までに認定 NPO 法人に該当しなくなった場合には、その適用は受けられない」とされている。認定 NPO 法人の失効により、上記規定に該当する寄付が1件ありその対応が必要なことから、臨時理事会にて相続税の特例(税制優遇)の適用が受けられなくなりその納税負担分の費用等についてはまちぽっとで負担することを確認した。

○ 認定 NPO 法人の失効に伴う雑損失

- ・ 相続寄付者負担額(課税額): 2,772,900 円
- ・ 税理士報酬: 110,000 円
- ・ 延滞税(利息): 75,700 円

○ 指定寄附

- ・ 寄付総額: 1,970,000 円
- ・ 寄付者: A C T、赤坂禎博、伊藤久雄、奥田雅子、工藤春代、金子匡良、小林幸治、佐々木貴子、土屋真美子、坪郷實、三浦一浩、渡部真実(以上、理事)、辻利夫(監事)

Ⅱ. 2021 年度事業活動

ⅰ. 「市民自治・参加・分権」にもとづく地域・市民社会の強化

地域・市民社会の強化のための調査研究、事業活動への支援、協力、政策・制度、しくみづくり、市民事業活動や自治体議員の担い手づくりのための各種事業活動を継続的に進めます。

Ⅰ. 「空き家活用・居住支援」事業

「市民・地域居住支援連絡協議会」の活動をはじめとする「空き家活用」及び「住宅確保要配慮者に対する居住・見守り支援の取組み」を継承し、生活クラブ生協・東京や居住支援市民連絡会・府中の居住支援相談等の取組みなど具体的な相談内容などの検証・分析等を通じて、さらに地域資源を活用した地域づくりに向けた事業の実施や政策・制度の改善などの取組みを進めます。

- 市民・地域居住支援連絡協議会の開催
 - ・ 第1回：2021年5月20日（木）10時～12時/オンライン（Zoom）
 - ・ 第2回：2021年10月28日（木）15時～17時/まちの縁がわテラツツァ（府中）
 - ・ 第3回：2022年3月16日（水）14時～16時/オンライン（Zoom）＋生活クラブ館
- 見学・ヒアリング
 - ・ 日時：2021年10月28日（木）14時～15時
 - ・ 場所：まちの縁がわテラツツァ（府中）
- 居住支援学習会
 - ・ 日時：2022年1月20日（木）午後2時～
 - ・ 方法・会場：オンライン（ZOOM）＋府中市市民活動センタープラッツ
 - ・ 内容：①NPO ワンエイドの取組み 松本 篤理事長、石塚 恵理事
②府中市による居住支援の取組み
③意見交換

2. 「まちぽっとセミナー」等開催事業

「まちぽっとセミナー」の開催をはじめ、自治体政策・制度等に関わる課題について学び、考え、対話する場を設け、地域・自治体づくりに向けた取組みを進めます。

- まちぽっとセミナー企画会議（役員のみ）
 - ・ アドボカシー編集委員会との合同会議
日時/方法：2021年7月12日（月）14時～16時/オンライン（Zoom）
- 企画編集委員会
 - 第1回・日時：2021年10月6日（水）17時00分～18時15分/オンライン（Zoom）
 - ・ メンバー：伊藤久雄、金子匡良、武内好恵、坪郷實、畑山弘、橋本治樹、日向美砂子、三浦一浩、小林幸治
- セミナーの開催
 - ・ 第1回 日時：2021年9月10日（金）15時～17時30分（PO研修の一環として）
方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

テーマ：地域で進める DV 被害者支援 ―コロナ禍の状況と自治体による取り組み
内容：講演① 北仲 千里 全国女性シェルターネット共同代表/広島大学准教授
講演② 及川 明 北海道環境生活部くらし安全局道民生活課男女平等参画係
質疑・意見交換

・ 特別編「自治体財政セミナー」 自治体財政を学ぶ特別セミナー

第1回 2022年1月24日(月) 17時～18時30分

自治体財政基礎編1 沼尾 波子 東洋大学教授

第2回 2022年1月27日(木) 17時～18時30分

自治体財政基礎編2 伊藤 久雄 NPO 法人まちぼっと/元東京都職員

第3回 2022年2月2日(水) 17時～18時30分

東京都におけるテーマ・事業別予算 苗村 洋子 都議会生活者ネットワーク

第4回 2022年2月3日(木) 17時～19時

コロナ下における自治体財政 苗村 洋子 都議会生活者ネットワーク

+奥田 雅子 杉並区議会議員、三原 智子 福生市議会議員

開催方法：原則オンライン（Zoom）にて

協力：東京・生活者ネットワーク

3. 「自治体政策・制度」調査研究事業

他団体との協力による取り組みのほか、独自での個別テーマによる調査研究を進め、自治体政策・制度づくりに取り組みます。

1) ケアラー調査（継続）

自治体におけるケアラー支援にかかわる社会的資源に関する調査を行い、自治体比較、考察、自治体政策にかかわる提案などを行うとともに、報告書を発行し公表する。

※ 主に東京・生活者ネットワークメンバーにより実施し、まちぼっとでは調査結果の比較・分析、報告書の作成等について協力する。

○ ヤングケアラー学習会

- ・ ケアを担う子どもや若者の現状について――実態を知り具体的な支援策を考える
- ・ 日時・方法：2022年2月5日(土) 13:00～14:30/オンライン
- ・ 講師：宮崎成悟さん（一般社団法人ヤングケアラー協会代表理事/Yancle 代表）

4. 「市民事業・自治体議員研修」事業

市民自治・分権・参加の普及と強化のため、市民社会の担い手となる主に市民や自治体議員・職員などを対象とした学習会・研修会等、学びの場づくりを進めます。

今年度中のこれまでの実施はありませんでした。

ii. 市民の主体的活動・事業への支援

これまで実施してきた市民の主体的活動・事業への支援にかかわる事業活動を継続するとともに、その取り組みの強化を図ります。

5. 草の根市民基金・ぐらん

都内で活動する市民団体及びアジアで活動する市民団体を支援する助成基金として、「草の根市民基金・ぐらん運営委員会」のもとで助成事業及び交流事業の取り組みを引き続き進めます。助成団体と寄付者・市民との交流する場をさらに進めることなどを通じて、生活クラブ組合員をはじめ多くの市民による資金支援の拡大に努めます。

○ 運営委員の変更

- ・ 辞任：運営委員長 田中のり子
- ・ 後任：小寺浩子
- ・ 辞任：運営委員（寄付者枠） 桑原理佐
- ・ 後任：山崎きぎく

○ 運営委員会の開催

- | | |
|-------|--|
| ・ 第1回 | 2021年5月19日(水)17時～19時/オンライン(Zoom)及びASKビル4F会議室 |
| ・ 第2回 | 2021年9月15日(水)17時～19時/オンライン(Zoom)及び生活クラブ館 |
| ・ 第3回 | 2021年12月6日(月)14時～15時/オンライン(Zoom)及び生活クラブ館 |
| ・ 第4回 | 2022年3月18日(月)14時～16時/オンライン会議(Zoom)及び生活クラブ館 |

○ 草の根交流集会の開催

- ・ 2021 年 7 月 24 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分/オンライン（Zoom）及び生活クラブ館
【第一部】活動報告：2019 年度助成・2020 年度活動団体
【第二部】意見交換

○ 公募スケジュール

- ・ 公募申請受付開始：10月4日（月）＊締切 11月1日（月）
- ・ 応募締切：11月8日（月）
- ・ 書類選考：12月6日（月）
- ・ ポイントアクションニュース発送：2022年1月6日（木）・・・締切 2月10日（木）
- ・ 公開選考会（オンライン）：2022年2月26日（土）13時～15時

○ 2021 年度助成・2022 年度活動団体の決定

- ・ アジア草の根助成
 - ① 特定非営利活動法人オンザロード/事業名：インド貧困地域での初等教育以降の教育補填と進学・就職支援/助成額：2022 年度 50 万円/2023 年度 50 万円
- ・ 都内草の根助成
 - ① 小平学・まちづくり研究所/事業名：引きこもり支援「ひまわりのおうち」/助成額：50 万円
 - ② NPO 法人 glolab/事業名：NEWD00R 奨学金プログラム/助成額：50 万円
 - ③ いちほの会/事業名：一時保護所環境改善に向けたアドボカシー・イベント開催・普及啓発/助成額：48 万円
 - ④ NPO 法人テラコヤ/事業名：カフェ塾テラコヤ/助成額：50 万円

○ 草の根交流学習会の開催

助成団体の活動を知りともに考えるため、『「草の根市民基金・ぐらん」交流・学習会』を開催する。

- ・ 第1回：医療的ケアのこどもたちと必要な支援 ―社会参加と自立生活に向けて―
おはなし：杉本 ゆかりさん (NPO 法人 Lino 代表理事)
開催日時：2021 年 11 月 24 日 (水) 午後 2 時～4 時

- ・ 第2回：LGBT 生活困窮者と必要な支援 ―社会参加の促進と自立生活の向上に向けて―
おはなし：金井 聡さん (LGBT ハウジングファーストを考える会・東京)
開催日時：2022 年 1 月 31 日 (月) 午後 2 時～4 時
- ・ 開催方法：原則オンライン (Zoom) で開催

6. ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF)

「社会的公正」を目指してアドボカシー活動を行う市民団体を支援する助成基金として、「ソーシャル・ジャスティス基金運営委員会」のもとで助成事業を進めるとともに、企画委員会のもとでアドボカシーカフェとして対話事業の取り組みを進めます。また、「Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト」(3 年計画)の2年度の取り組みを進めます。

- アドボカシーカフェ
 - ・ 第 68 回 2021 年 4 月 17 日(土)13:30～16:00/オンライン (Zoom)
非行少年と保護司～やり直しを支援できる社会へ
 - ・ 第 69 回 2021 年 5 月 15 日(土)13:30～16:00/オンライン (Zoom)
あなたがある日突然、外国人だと言われたら
～インド・アッサム州における市民権問題
 - ・ 第 70 回 2021 年 6 月 19 日(土)13:30～16:00/オンライン (Zoom)
地域から問う持続可能な社会経済のあり方～リニア新幹線の開発事業をめぐって
 - ・ 第 71 回 2021 年 7 月 27 日(火)13:30～16:00/オンライン (Zoom)
ジェンダーと民族が複合する差別～在日コリアン女性自身による実態調査
- 連携フォーラム 2021
 - ・ 2021 年 8 月 20 日(金)13:00～16:00/オンライン (Zoom)
- 公募スケジュール等
 - ・ 2021 年度の公募テーマ
 - ① 特設テーマ『グローバル化社会における草の根民主主義』に取り組むアドボカシー活動
 - ② 基本テーマ『見逃されがちだが、大切な問題』に取り組むアドボカシー活動
 - ・ スケジュール
募集期間：2021 年 9 月 1 日～9 月 20 日
選考期間：2021 年 10 月～11 月
助成期間：2022 年 1 月 ～ 22 年 12 月 (100 万円以内×1 年間)
2022 年 1 月 ～ 23 年 12 月 (50 万円以内×2 年間)
- SJF 連携プロジェクト助成 (各 50 万円)
 - ・ 『刑務所所在地の FM 局で受刑者の社会復帰をサポートするラジオ番組を放送する』
(代表団体) NPO 法人監獄人権センター
(連携団体) 一般社団法人東京府中 FM (ラジオフューズ)
 - ・ 『子ども・若者の切れ目ない連続的な参画の仕組みの構築
―権利に基づいたこども庁、こども基本法を通して―』
(代表団体) NPO 法人わかものまち

- （連携団体）認定 NPO 法人国際子ども権利センター（C-Rights）
- ・ 『刑法 Update プロジェクト』
（代表団体）NPO 法人しあわせなみだ
（連携団体）NPO 法人全国女性シェルターネット、認定 NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ、性暴力禁止法をつくろうネットワーク
- ・ 『子どもアドボカシーセンター ネットワーキングプロジェクト』
（代表団体）NPO 法人子どもアドボカシーセンター OSAKA
（連携団体）一般社団法人子どもアドボカシーセンター NAGOYA
- SJF 第 10 回助成先（各 100 万円）
 - ・ 『性売買経験当事者ネットワークの立ち上げ』：性売買経験当事者ネットワーク灯火（とうか）
 - ・ 『児童相談所一時保護施設における訪問アドボカシー』：一般社団法人子どもの声からはじめよう
 - ・ 『川を住民の手にとりもどす～市民が考える気候危機下での「流域治水」～』：気候危機と水害：ダムで暮らしは守れるか？連続セミナー実行委員会
- 助成発表フォーラム 2022 年 1 月 7 日 13 時～16 時/オンライン（Zoom）開催

7. 市民社会強化活動支援事業（Pecs）

休眠預金等交付金を活用して、2020 年度から全国 10 団体への助成活動を通じて、また実行団体への COVID-19 緊急支援の取り組みを引き続き進め、地域・市民社会の強化をめざします。2021 年度緊急支援及び通常枠の資金分配団体としての事業活動を検討するとともに、一連の活動を通じて休眠預金等活用制度の仕組みづくりや制度の改善なども中長期的な目標として取り組みます。

- 中間報告会の開催
 - ・ 2021 年 5 月 22 日（土）10 時～13 時オンライン＋生活クラブ館
【第 1 部】各団体からの活動報告＋選考審査委員・アドバイザーとの質疑
【第 2 部】グループでの意見交換
【第 3 部】選考審査委員＋アドバイザーからの評価・感想・意見等
- アドバイザー会議
 - ・ メンバー：高田 幸詩朗（「草の根市民基金・ぐらん」運営委員/国際教育交流協議会（JAFSA）事務局長）、坪郷 實（NPO まちぽっと理事/早稲田大学名誉教授）、三木 由希子（NPO まちぽっと理事/情報公開クリアリングハウス理事長）
 - ・ 第 1 回：2021 年 6 月 11 日 10 時 30 分～12 時 30 分/オンライン（Zoom）
 - ・ 第 2 回：2021 年 10 月 14 日 15 時～17 時 15 分/オンライン（Zoom）
 - ・ 第 3 回：2022 年 2 月 22 日 15 時～17 時/オンライン（Zoom）
- PO 研修の開催
 - ・ 第 10 回：2021 年 6 月 9 日（水）15 時～17 時/オンライン（Zoom）
プログラム評価の基礎 ～参加型評価に焦点をあてて
源 由理子 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科・教授
 - ・ 第 11 回：2021 年 9 月 10 日（金）15 時～17 時 30 分/オンライン（Zoom ウェビナー）
地域で進める DV 被害者支援 ―コロナ禍の状況と自治体による取り組み

講演① 北仲 千里 全国女性シェルターネット共同代表/広島大学准教授
講演② 及川 明 北海道環境生活部くらし安全局道民生活課男女平等参画係
質疑・意見交換

＊まちぼっとセミナーとして開催

- ・ 第12回：2022年2月15日（火）14時～16時30分/オンライン（Zoom）
「障害者差別解消法」の改正
―労働や教育現場などへの影響は？ 自治体の役割はどう変わる？
崔 栄繁 認定 NPO 法人 DPI 日本会議議長補佐
- ・ 神奈川県座間視察：2021年10月7日実施
- ・ 滋賀県東近江視察：2021年12月15日実施
- 2021年度新型コロナウイルス対応助成申請
 - ・ 事業名：孤独・孤立解消に向けた相談・生活支援事業
 - ・ 申請：2021年7月9日付け ・ 申請額：3,075万円
 - ・ 結果：不採択
- JANPIA・代表者意見交換会
 - ・ 2021年12月20日（月）15時～17時/オンライン
- 休眠預金議連ヒアリング
 - ・ 認定 NPO 法人びーのびーのへのヒアリングに同席・参加
 - ・ 2022年1月11日（火）14時～15時/横浜市内
- JANPIA・レビュー会
 - ・ 2022年1月17日（月）9時30分～11時30分/オンライン
 - ・ 外部評価・事業アドバイザーとの意見交換

iii. 市民活動との連携・協力による市民事業の推進、情報の発信

多様な市民活動団体との連携・協力により、市民事業の発展や創出、推進に向けた取り組みを進めます。

8. 東京政策推進会議への開催協力

生活クラブ生協・東京が進める「東京政策推進会議」への参加・協力により、「ひとこと提案運動（まちカフェ）」などをおして政策提案として取りまとめ、自治体や議会に提案することを到達点の一つとして取り組みを進めます。

- 会議の開催
 - ・ 第1回：2021年4月15日（木）14時～16時/オンライン及び生活クラブ館地下スペース
政策提案運動スタート学習会
基調講演：市民が政策を提案することー政治を変える道具に
坪郷 實さん（早稲田大学名誉教授）
実践報告：動くと地域は変わる～多胎児支援の取り組みから/西門真紀子さん（まち葛飾）
 - ・ 第2回：2021年5月31日（月）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
 - ・ 第3回：2021年6月30日（水）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
 - ・ 第4回：2021年7月28日（水）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース

- ・ 第5回：2021年9月1日（水）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
- ・ 第6回：2021年9月30日（木）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
- ・ 第7回：2021年10月27日（水）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
- ・ 第8回：2021年11月25日（木）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
- ・ 第9回：2021年12月22日（水）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
- ・ 第10回：2022年2月1日（火）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース
- ・ 第11回：2022年3月1日（火）14時30分～16時/生活クラブ館・スペース

9. NPO 法制定記録寄贈、HP 公開

NPO 法制定時の記録文書の国立公文書館への寄贈等に向けた作業を継続して進めるとともに、国立公文書館での受入れ以外の方法で閲覧可能な状態にするなど、その対応を検討し進めます。

今年度は寄贈等の作業を進めることができませんでした。

10. 季刊誌、書籍等の発行

主に会員向け季刊誌・情報誌として、市民政策調査会と協力して「アドボカシー」の発行を引き続き進めますが、その事業遂行にあたっての体制や内容などについて検討します。

- アドボカシー編集委員会（役員のみ）
 - ・ 日時：2021年7月12日（月）14時～16時/オンライン（Zoom）
- 企画編集委員会（まちぼっとセミナー企画会議合同会議）
 - ・ 日時：2021年10月6日（水）17時00分～18時15分/オンライン（Zoom）
 - ・ メンバー：伊藤久雄、金子匡良、武内好恵、坪郷實、畑山弘、橋本治樹、日向美砂子、三浦一浩、小林幸治
- 第16号
 - ・ テーマ：DV 被害者への支援制度
 - 身体的・性的・心理的な暴力から被害者を守る社会づくりに向けて
 - ・ 発行日：2022年2月28日
 - ・ 構成：1. まちぼっとセミナー記録
 - 2. 国連・諸外国
 - 3. 国の動き
 - 4. 自治体の取組み
 - 5. Advocacy Column「DV（＋性犯罪）と憲法」
 - 6. NPO 法人まちぼっと？市民政策調査会ニュース

11. Web サイトの再構築及び更新、メールマガジン等の配信

Web サイトの再構築を進めるとともに更新を逐次行い、またメールマガジンを発行し積極的な情報発信を進めます。

- WEB サイトの再構築及び更新
 - ・ 7月中旬より新たなWEBサイト公開

○ メールマガジンの配信

- ・ 準備号 12：4月20日配信、準備号 13：5月20日配信、準備号 14：6月20日配信、準備号 15：7月21日配信、準備号 16：8月23日配信、準備号 17：9月24日配信、準備号 18：10月20日配信、準備号 19：11月20日配信、準備号 20：12月20日配信、第1号：1月20日配信、第2号：2月20日配信、第3号3月22日配信

12. その他協力事業等の実施

1) 「子ども基金」への協力

生活クラブ生協・東京が進める「生活クラブエッコロこども基金」の活動について、これまで進めてきた各種事業を通じて助言、協力を行い、豊かな地域づくりに向けた取り組みを進めます。

○ 審査会の開催

- ・ 第1回：2021年5月10日（月）15：00～16：20/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第2回：2021年6月9日（水）10：30～11：42/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第3回：2021年9月8日（水）14：00～15：16 /生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第4回（欠席）：2021年10月7日（木）14：00～15：00/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第5回：2021年11月1日（月）15：00～16：30/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第6回：2022年1月12日（水）14：00～15：00/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第7回：2022年2月7日（月）15：00～16：00/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第8回：2022年3月7日（月）15：00～16：00/生活クラブ館オンライン併用

2) まちづくり・しごとづくりコネクト プロジェクトへの参加・協力（新規）

協同組合的運営（ニワーカーズ・コレクティブ）による起業・事業継続に対し、共通する「考え方」とそれを具現化する「しくみ」を検討し、答申を取りまとめます。

○ PJ 会議の開催

- ・ 第1回：2021年6月24日（木）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第2回：2021年7月20日（火）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第3回：2021年8月24日（火）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第4回：2021年9月22日（水）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第5回：2021年10月20日（水）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第6回：2022年3月11日（金）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用

○ チーム会議の開催

➤ 広報戦略チーム

- ・ 第1回：2021年12月3日（金）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第2回：2022年1月14日（金）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第3回：2022年2月8日（火）15時～16時30分/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第4回：2022年3月3日（木）13時～14時30分/生活クラブ館オンライン併用

➤ つながり再構築チーム

- ・ 第1回：2021年12月10日（金）14時～16時/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第2回：2022年2月7日（月）16時30分～/生活クラブ館オンライン併用
- ・ 第3回：2022年2月24日（木）16時30分～18時/生活クラブ館オンライン併用

- ・ 第4回：2022年3月8日（火）10時～12時/生活クラブ館オンライン併用
- 人材発掘・育成チーム
- ・ 第1回：2021年12月13日（月）15時～17時/生活クラブ館オンライン併用
 - ・ 第2回：2022年2月9日（水）15時～17時/生活クラブ館オンライン併用
 - ・ 第3回：2022年3月9日（水）13時～15時/生活クラブ館オンライン併用
- ＊2022年3月第二次答申を發布

3) 東京 CPB への参加・協力

東京コミュニティパワーバンク(東京CPB)の役員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

- ・ 通常総会：6月19日（土）14:30～15:30/ASKビル
- ・ 第1回理事会：6月19日（土）16:00～16:30/ASKビル
- ・ 第2回理事会：6月22日（火）18:30～20:30/オンライン（Zoom）
- ・ 第3回理事会：7月20日（火）18:30～19:40/オンライン（Zoom）
- ・ 第4回理事会：8月24日（火）18:30～20:15/オンライン（Zoom）
- ・ 第5回理事会：9月21日（火）18:30～20:30/オンライン（Zoom）
- ・ 第6回理事会：10月21日（木）18:30～20:30/オンライン（Zoom）
- ・ 第7回理事会：11月25日（木）18:30～20:20/オンライン（Zoom）
- ・ 第8回理事会：12月23日（木）18:30～20:05/オンライン（Zoom）
- ・ 第9回理事会：1月18日（火）18:30～20:05/オンライン（Zoom）
- ・ 第10回理事会：2月22日（火）18:30～20:30/オンライン（Zoom）
- ・ 第11回理事会：3月22日（火）18:30～20:30/オンライン（Zoom）

4) 生活クラブ運動グループ・東京連絡会

生活クラブ運動グループ・東京連絡会に運営委員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

- ・ 第1回連絡会 2021年7月13日（火）14:00～15:40/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第1回ピアふえすた実行委員会：2021年9月13日（月）10:30～11:50/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第2回ピアふえすた実行委員会：2021年10月7日（木）14:00～15:40/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第3回ピアふえすた実行委員会：2021年12月20日（月）10:30～12:00 生活クラブ館・オンライン
- ・ 2021年度ピアふえすた：2022年1月22日（土）10:30～12:30/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第2回連絡会：2022年3月25日（金）10:30～12:30/生活クラブ館・オンライン（Zoom）

5) インクルーシブ事業連合への参加・協力

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合の運営委員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

- ・ 通常総会：6月26日（土）14:00～15:45/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第1回運営委員：4月23日（金）14:00～16:40/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第2回運営委員会：5月20日（木）14:00～16:50/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第3回運営委員会：6月21日（月）14:00～16:15/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第4回運営委員会：7月21日（水）14:00～16:45/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第5回運営委員会：8月26日（木）14:00～16:25/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第6回運営委員会：9月27日（月）15:30～17:00/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第7回運営委員会：10月21日（木）14:00～16:00/生活クラブ館・オンライン（Zoom）
- ・ 第8回運営委員会：11月18日（木）14:00～16:00/生活クラブ館・オンライン
- ・ 第9回運営委員会：12月23日（木）14:00～16:15/生活クラブ館・オンライン
- ・ インクルファンド助成選考調整会：2022年1月11日（火）14:00～15:00/オンライン
- ・ 第10回運営委員会：1月26日（水）14:00～16:41/生活クラブ館・オンライン
- ・ 第11回運営委員会：2月24日（木）14:00～16:00/生活クラブ館・オンライン
- ・ インクルファンド助成選考会：3月10日（木）13:00～15:00/生活クラブ館・オンライン
- ・ 第12回運営委員会：3月24日（木）14:00～16:00/生活クラブ館・オンライン

6) アビリティクラブたすけあい（ACT）への参加・協力

アビリティクラブたすけあい（ACT）の役員として参画し、各種事業への参加・協力を進めます。

○ 総会・理事会の開催

- ・ 総会（欠席）：2021年5月29日（土）
- ・ 臨時理事会（欠席）：2021年5月29日（土）
- ・ 第1回理事会：2021年6月25日（金）14:00～18:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第2回理事会：2021年7月30日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第3回理事会：2021年8月27日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第4回理事会：2021年9月24日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第5回理事会：2021年10月29日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第6回理事会：2021年11月26日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第7回理事会：2021年12月24日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第8回理事会：2022年1月28日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第9回理事会：2022年2月25日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第10回理事会：2022年3月25日（金）14:00～17:00/ACT会議室 Zoom 併用

○ 第5次中期計画策定PJ

- ・ 第1回：2021年7月7日（水）10:30～13:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第2回：2021年7月19日（月）13:00～16:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第3回：2021年8月3日（火）13:30～16:30/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第4回：2021年8月25日（水）10:30～12:30/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第5回：2021年9月3日（金）13:30～15:30/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第6回：2021年9月29日（水）10:30～12:30/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第7回：2021年10月13日（水）10:00～12:00/ACT会議室 Zoom 併用
- ・ 第8回：2021年10月26日（火）13:30～16:00/ACT会議室 Zoom 併用

- ・ 第9回：2021年11月11日（木）10:30～12:30/ACT 会議室 Zoom 併用
- ・ 第10回：2021年11月25日（木）10:00～13:00/ACT 会議室 Zoom 併用
- ・ 第11回：2021年12月8日（水）10:00～12:00/ACT 会議室 Zoom 併用
- ・ 第12回：2021年12月22日（水）13:30～15:30/ACT 会議室 Zoom 併用

13. 「ブックレット作成」等受託

1) 「子どものためのほうりつ」意見交換会報告書

立憲民主党から業務の依頼があり、「子どものためのほうりつ」意見交換会報告書作成の作業協力を行った。

iv. 事業・経営基盤の安定化及び組織・運営体制の強化

第5期中期計画にもとづき、事業毎にその検証と見直しを図りその強化を進めます。また、同時に人事等の見直しにより組織・運営、事務局体制の強化を図ります。

事業活動毎に「経営基盤の強化・安定化、目的や効果などについて各事業活動の検証と見直し」、「組織運営体制の強化のための人材の確保」などを順次進めます。

各事業活動においてそれぞれの委員会等により「経営基盤の強化・安定化、目的や効果などについて各事業活動の検証と見直し」、「組織運営体制の強化のための人材の確保」などについて検討を進め、改善点等については順次見直しなどを行った。理事会等においても事業活動報告及び意見交換などを通じてその共有化などを進めた。